

本学教職員の学術活動一覧(2009年)

氏名	種別	内容
Fujioka H., Kubo O., Okamoto K., Senami K., Okitsu T., Ohnaka T., Sawama Y., Kita Y.	論文	<i>Heterocycles</i> <b>2009</b> , 77(2), 1089-1103. "Mild and efficient deprotection of acetal-type protecting groups of hydroxyl functions by triethylsilyl triflate-2,4,6-collidine combination"
Fujioka H., Kubo O., Senami K., Okamoto K., Okitsu T., Kita Y.	論文	<i>Heterocycles</i> <b>2009</b> , 79(1), 1113-1120. "Organic chemistry using weakly electrophilic salts: the reaction with nitrogen nucleophiles"
Ito M., Yamano Y., Tode C., Wada A.	総説	<i>Arch. Biochem. Biophys.</i> <b>2009</b> , 483(2), 224-228. "Carotenoid synthesis: Retrospect and recent progress"
山野 由美子, 都出 千里, 和田 昭盛	著書	『カロテノイドの科学と最新応用技術』(シーエムシー出版, <b>2009</b> ) .38-48.
山野 由美子, 山口 綾子, 和田 昭盛	学会報告	日本薬学会第129年会 (2009.03.26 京都). 「エトキシエチル基を配向基として用いる2-ヨードフェニルトルフラート類の簡便合成と1,4-ナフトキノン類合成への応用」
中澤 大祐, 沖津 貴志, 松岡 るみ, 和田 昭盛	学会報告	日本薬学会第129年会 (2009.03.28 京都). 「ヨウ素環化反応を用いた3-Iodobenzo[b]furanの簡便構築法における置換基効果」
沖津 貴志, 中澤 大祐, 小林 亮広, 溝畑 雅裕, 尹 康子, 石田 寿昌, 和田 昭盛	学会報告	日本薬学会第129年会 (2009.03.28 京都). 「ヨウ素環化反応による多官能性スピロ化合物の合成」
山野 由美子, 平野 亜季, 小山 泰, 和田 昭盛	学会報告	日本薬学会第129年会 (2009.03.28 京都). 「太陽電池構築を目指したSH基導入ポリエン結合ポルフィリン誘導体の合成研究」
沖津 貴志, 岩塚 欣也, 中川 公恵, 岡野 登志夫, 和田 昭盛	学会報告	日本ビタミン学会第61回大会 (2009.05.31 亀岡). 「9Z-レチノイン酸及び誘導体の高効率の合成と生物活性」
和田 昭盛, 沖津 貴志, 岩塚 欣也, 中川 公恵, 岡野 登志夫	学会報告	日本ビタミン学会第61回大会 (2009.03.28 亀岡). 「4-置換-2H-クロメン環を有するレチノイン酸類の合成と生物活性」
沖津 貴志, 岩塚 欣也, 中澤 大祐, 和田 昭盛, 中川 公恵, 岡野 登志夫	学会報告	第324回脂溶性ビタミン総合研究委員会 (2009.07.10 神戸). 「環修飾レチノイン酸アナログの生物活性における置換基効果」
沖津 貴志, 中澤 大祐, 小林 亮広, 溝畑 雅裕, 和田 昭盛	学会報告	第7回次世代を担う有機化学シンポジウム (2009.07.23 吹田). 「ヨウ素環化反応を利用する複素環合成」
Okitsu T., Nakazawa D., Wada A.	学会報告	<i>22nd International Congress on Heterocyclic Chemistry</i> (2009.08.04 St. John's). "Domino process of iodocyclization and Diels-Alder reaction for the construction of bridgehead-spiro heterocycles"
山野 由美子, 岩塚 欣也, 佐々木 俊, 平野 亜希, 小山 泰, 和田 昭盛	学会報告	第23回カロテノイド研究談話会 (2009.09.17 仙台). 「SH基を導入したポリエンとポルフィリン誘導体とのハイブリッド化合物の合成研究—太陽電池の構築を目指して」
山野 由美子, 山口 綾子, 和田 昭盛	学会報告	第59回日本薬学会近畿支部総会・大会 (2009.10.24 東大阪). 「エトキシエチル基を配向基として用いるカルコン類の合成」
沖津 貴志, 中澤 大祐, 和田 昭盛	学会報告	第59回日本薬学会近畿支部総会・大会 (2009.10.24 東大阪). 「ヨウ素環化反応を用いるベンゾフラン類の網羅的合成」
沖津 貴志, 佐藤 可奈, 和田 昭盛	学会報告	第59回日本薬学会近畿支部総会・大会 (2009.10.24 東大阪). 「ヒドラジン誘導体を求核種とするヨウ素環化反応の開発」
沖津 貴志, 中澤 大祐, 小林 亮広, 溝畑 雅裕, 尹 康子, 石田 寿昌, 和田 昭盛	学会報告	第59回日本薬学会近畿支部総会・大会 (2009.10.24 東大阪). 「ヨウ素環化反応を活用する多官能性スピロ複素環の合成」
Okitsu T., Nakazawa D., Wada A.	学会報告	<i>The Eleventh International Kyoto Conference on New Aspects of Organic Chemistry</i> (2009.11.10 Kyoto). "Concise Construction of 3-Iodobenzo[b]furans by Iodocyclization"
山野 由美子, 山口 綾子, 和田 昭盛	学会報告	第35回反応と合成の進歩シンポジウム (2009.11.16 金沢). 「エトキシエチル基を配向基として用いるフェノール類のオルト位への位置選択的置換基導入とカルコン類合成への応用」
沖津 貴志, 中澤 大祐, 小林 亮広, 溝畑 雅裕, 和田 昭盛	学会報告	第35回反応と合成の進歩シンポジウム (2009.11.16 金沢). 「ヨウ素環化反応を機軸とするスピロ環の合成」
沖津 貴志, 岩塚 欣也, 和田 昭盛, 中川 公恵, 岡野 登志夫	学会報告	第20回日本レチノイド研究会 (2009.11.21 東京). 「9Z-レチノイン酸の効率的合成とその応用」
沖津 貴志, 佐藤 可奈, 和田 昭盛	学会報告	第29回有機合成若手セミナー (2009.11.24 神戸). 「ヨード環化反応を利用したジヒドロピラゾール及びピラゾールの選択的合成」
沖津 貴志, 岩塚 欣也, 澤田 夏美, 中川 公恵, 岡野 登志夫, 和田 昭盛	学会報告	第28回メディスナルケミストリーシンポジウム (2009.11.25 東京). 「9Z-レチノイン酸及び誘導体の高効率の合成と転写活性」
沖津 貴志, 佐藤 可奈,	学会報告	第28回メディスナルケミストリーシンポジウム (2009.11.25 東京). 「テルペノイド由来疎水性ユ

澤田 夏美, 中川 公恵, 岡野 登志夫, 和田 昭盛		ニットを組み込んだ9Z-レチノイン酸の合成と転写活性」
和田 昭盛, 須原 義智, 山野 由美子, 沖津 貴志	学会報告	第53回香料・テルペンおよび精油化学に関する討論会 (2009.11.07 生駒). 「重水素標識したゲラニルゲラニオールおよびビタミンKの合成」
大西克典, 太田光熙	論文	Food Style <b>2009</b> , 21, 48-49. 「あした葉カルコンの抗メタボリックシンドローム作用」
藤本さおり, 今井佐恵子, 香西はな, 西山紋恵, 福村 圭史, 高橋陽子, 金子眞 理子, 高村一成, 藤波綾, 太田光熙, 中埜幸治, 朴孝 憲, 福井道明, 長谷川剛 二, 中村直登, 緒方正和, 尾林博, 梶山静夫	論文	日本病態栄養学会誌 <b>2009</b> , 11(12), 149-155. 「境界型及び軽症2型糖尿病患者における各種 種類摂取後血糖反応曲線」
Ando T, Ishikawa T, Kato H, Yoshida N, Naito Y, Kokura S, Kitawaki J, Nakamura N, Hasegawa G, Fukui M, Matsumoto N, Ohta M, Mizuno S, Ogata M, Obayashi H, Park H, Kitagawa Y, Nakano K, Yoshikawa T.	論文	<i>Int J Cancer</i> <b>2009</b> , 125(11), 2595-2602. "Synergistic effect of HLA class II loci and cytokine gene polymorphisms on the risk of gastric cancer in Japanese patients with <i>Helicobacter pylori</i> infection."
Hasegawa G, Fukui M, Hosoda H, Asano M, Harusato I, Tanaka M, Shiraishi E, Senmaru T, Sakabe K, Yamasaki M, Kitawaki J, Fujinami A, Ohta M, Obayashi H, Nakamura N.	論文	<i>Eur J Pharmacol</i> <b>2009</b> , 605(1-3), 164-169. "Telmisartan, an angiotensin II type 1 receptor blocker, prevents the development of diabetes in male Spontaneously Diabetic Torii rats."
Tagawa N., Yuda R., Kubota S., Wakabayashi M., Yamaguchi Y., Kiyonaga D., Mori N., Minamitani E., Masuzaki H., Kobayashi Y.	論文	<i>J. Endocrinol.</i> <b>2009</b> , 202(1), 131-139. "17Beta-estradiol inhibits 11beta-hydroxysteroid dehydrogenase type 1 activity in rodent adipocytes"
久保田明花多河典子森 奈津子山口裕子若林 翠 小林吉晴	学会報告	第19回日本臨床化学会近畿支部総会 (2009.01.24 大阪). 「レスベラトロールの肥満抑制機 序について」
久保田明花多河典子森 奈津子山口裕子若林 翠 小林吉晴	学会報告	日本薬学会第129年会 (2009.03.28 京都). 「植物エストロゲン, resveratrolの脂肪細胞内グ ルココルチコイド変換酵素阻害作用について」
多河典子森 奈津子織田 祥子久保田明花光増 哲 小林吉晴	学会報告	日本薬学会第129年会 (2009.03.27 京都). 「エストラジオールによる3T3-L1脂肪細胞での脂 肪分解抑制機序—第二報—」
多河典子嶋田 努鈴木 亘 油田正樹小林吉晴	学会報告	第82回日本内分泌学会学術総会 (2009.4.24 前橋). 「」
山口裕子多河典子清長大 輔武田紀彦宮田興子内藤 猛章小林吉晴	学会報告	第49回日本臨床化学会年会 (2009.09.19 長崎). 「マウス脳内11β位水酸化ステロイド脱水素 酵素1型活性に対する(benzofuranyl)phenol誘導体の阻害作用」
多河典子湯田亮介久保田 明花山口裕子若林 翠清 長大輔南谷恵里佳益崎裕 章小林吉晴	学会報告	第30回日本肥満学会 (2009.10.09 浜松). 「エストラジオールによるマウス脂肪細胞中11β位 水酸化ステロイド脱水素酵素1型の抑制機序」
山口裕子多河典子若林 翠清長大輔小林吉晴	学会報告	第59回日本薬学会近畿支部総会 (2009.10.24 大阪). 「Estradiol誘導体による11β位水酸化 ステロイド脱水素酵素1型抑制作用の構造—活性相関について」
青野祥子山口裕子多田雅 美大村知子今井芙美子多 河典子小林吉晴濱口常男 海田勝仁吉原 哲門林宗 男	学会報告	代19回日本医療薬学会年会 (2009.10.24 長崎). 「造血幹細胞移植患者におけるタクロリムス 血中濃度に及ぼす抗菌薬と性差の影響」
青柳裕之鷲尾洋介戸津五 月増本健一中西秀彦内山 温楠田 聡多河典子小林 吉晴	学会報告	第54回日本未熟児新生児学会 (2009.11.30 横浜). 「早産児における3β-hydroxysteroid dehydrogenase活性の発達」
下駄 祐子, 藤波 綾, 太 田 潔江, 花田 祥子, 田 口 真奈美, 堀部 絵理, 池田 絵里佳, 池田 麗, 太田 光熙	学会報告	日本薬学会第129年会 (2009.03.26 京都). 「尿中Cotinine量を用いた小児受動喫煙評価」
田口 真奈美, 堀 和子,	学会報告	日本薬学会第129年会 (2009.03.26 京都). 「寒冷馴化および脱馴化ラットにおける脂肪組織

藤波 綾, 下駄 祐子, 堀部 絵理, 池田 絵里佳, 池田 麗, 太田 潔江, 太田 光熙		中BDNF濃度」
藤波 綾, 下駄 祐子, 田口 真奈美, 堀部 絵理, 池田 絵里佳, 池田 麗, 太田 潔江, 小笠原 和也, 大西 克典, 井上 賢一, 太田 光熙	学会報告	日本薬学会第129年会 (2009.03.28 京都). 「TSNOマウスにおける血漿、脂肪組織および肝臓中アディポサイトカインに及ぼすカルコン摂取の影響」
藤本さおり, 今井佐恵子, 香西はな, 西山紋恵, 福村圭史, 高橋陽子, 金子真理子, 高村一成, 藤波綾, 太田光熙, 中埜幸治, 朴 孝憲, 福井道明, 長谷川剛二, 中村直登, 緒方正和, 尾林 博, 梶山静夫	学会報告	第52回日本糖尿病学会年次学術集会 (2009.05.23 大阪). 「境界型及び2型糖尿病患者における各種種類摂食後の血糖反応曲線」
千丸 貴史, 長谷川 剛二, 福井 道明, 山崎 真裕, 春里 一子, 田中 武兵, 白石 恵美, 坂部 和美, 尾林 博, 太田 光熙, 中村 直登	学会報告	第52回日本糖尿病学会年次学術集会 (2009.05.24 大阪). 「アンジオテンシン受容体拮抗薬による糖尿病発症抑制機序: SDTラットを用いての検討」
Hori K., Fujinami A., Ohta K., Hori S., Ohta M.	学会報告	<i>The 3rd International Symposium on Physiology &amp; Pharmacology of Temperature Regulation</i> (2009.07.24 Matsue). "Comparison of the adipocytokines in obese Zucker rats and OLETF rats under the cold acclimation and deacclimation"
藤波 綾, 池田 絵里佳, 池田 麗, 堀部 絵理, 下駄 祐子, 原 宏和, 尾林 博, 太田 潔江, 中村 直登, 太田 光熙	学会報告	第49回日本臨床化学会年次学術集会 (2009.09.20 長崎). 「糖尿病患者における血清中AIF-1濃度」
下駄 祐子, 藤波 綾, 太田 潔江, 花田 祥子, 太田 光熙	学会報告	第49回日本臨床化学会年次学術集会 (2009.09.20 長崎). 「小児尿中Cotinine量と家庭内喫煙状況との関連」
藤波 綾, 田口 真奈美, 堀 和子, 下駄 祐子, 堀部 絵理, 池田 絵里佳, 池田 麗, 太田 潔江, 太田 光熙	学会報告	第82回日本生化学会大会 (2009.10.23 神戸). 「寒冷馴化および脱馴化したZuckerラットにおけるBDNF量」
池田 絵里佳, 藤波 綾, 下駄 祐子, 二村 祥平, 原 由香里, 福田 高明, 尾林 博, 太田 潔江, 太田 光熙	学会報告	第59回日本薬学会近畿支部総会・大会 (2009.10.24 大阪). 「2型糖尿病におけるBDNFの病態学的意義」
池田 麗, 藤波 綾, 下駄 祐子, 原 宏和, 原 由香里, 福田 高明, 二村 祥平, 尾林 博, 太田 潔江, 太田 光熙	学会報告	第59回日本薬学会近畿支部総会・大会 (2009.10.24 大阪). 「炎症性因子Allograft inflammatory factor-1の糖尿病における病態学的意義」
堀部 絵理, 藤波 綾, 下駄 祐子, 福田 高明, 二村 祥平, 原 由香里, 太田 潔江, 大西 克典, 小笠原 和也, 井上 賢一, 太田 光熙	学会報告	第59回日本薬学会近畿支部総会・大会 (2009.10.24 大阪). 「マウスの悪玉アディポサイトカインへ及ぼすカルコン摂取の影響」
Okanoue T., Park H., Ishigami A., Shima T., Mizuno M., Maruyama N., Yamaguchi K., Mitsuyoshi H., Minami M., Yasui K., Itoh Y., Yoshikawa T., Fukui M., Hasegawa G., Nakamura N., Ohta M., Obayashi H	学会報告	<i>A 27th annual meeting of the American Association for the Liver diseases</i> (2009.10.30 Boston). "Hepatic senescence marker protein-30 is involved in the progression of nonalcoholic fatty liver disease."
Nakayama H., Akasaka H., and Tshuhako M.	論文	<i>J. Pharm. Sci.</i> <b>2009</b> , 98(1), 46-49. "Complete Protection of Sodium Valproate from Humidity by Using a Hydrotalcite Composite"
Hayashi A., Nakayama H., and Tshuhako M.	論文	<i>Solid State Sciences</i> <b>2009</b> , 11(5), 1007-1015. "Intercalation of Melamine into Layered Zirconium Phosphates and Their Adsorption Properties of Formaldehyde in Gas and Solution Phase"
Nakayama H.	論文	<i>Phosphorus. Res. Bull.</i> <b>2009</b> , 23, 1-9. "Intercalation of Organic Molecules into Layered Phosphates - Correlation between Structure and Function -"

Maeda H., Matsushita M., Tsuchiaki M., Nariai H., and Nakayama H.	論文	<i>Phosphorus. Res. Bull.</i> <b>2009</b> , 23, 52-56. "Phosphorylation of Polyamidoamine Dendrimers with cyclo-Triphosphate in Aqueous Solution"
中山 尋量	論文	<i>Phosphorus Lett.</i> <b>2009</b> , 63, 9-14. 「機能性材料—その構造と機能の相関を探る—」
中山 尋量	著書	『粘土ハンドブック』(技報堂出版, <b>2009</b> ) .656-657.
前田 秀子, 前田 晶美, 田村 理絵, 津波古充朝, 中山 尋量	学会報告	第129年会 日本薬学会 (2009.03.27 京都市). 「抗悪性腫瘍薬であるメルカプトプリンおよびエトポシドのシクロデキストリンへの包接」
中山 尋量, 林 亜紀, 野中 麻生, 山口 翔	学会報告	第129年会 日本薬学会 (2009.03.28 京都市). 「塩素型ハイドロタルサイトによる薬物の吸湿性抑制」
林 亜紀, 中山 尋量	学会報告	日本化学会第89春季年会 (2009.03.30 船橋). 「層状複水酸化物とバルプロ酸ナトリウムとの固相反応」
林 亜紀, 中山 尋量	学会報告	第53回粘土科学討論会 (2009.09.11 盛岡). 「層状複水酸化物を用いた固体—固体反応の検討」
楠原 拓真, 前田 秀子, 津波古充朝, 中山 尋量	学会報告	第19回無機リン化学討論会 (2009.10.08 東京). 「無機環状三リン酸塩による抗ガン剤シタラビン及び関連化合物のリン酸化」
中山 尋量, 林 亜紀, 前田 秀子, 川本 浩司	学会報告	第 (2009.10.08 東京). 「Mg-Al系層状複水酸化物によるリン回収の試み」
林 亜紀, 田中亜衣子, 若松 睦美, 津波古充朝, 中山 尋量	学会報告	第 (2009.10.09 東京). 「修飾した層状リン酸ジルコニウムによる芳香族炭化水素ガスの吸着—層間のアルキル鎖及びベンゼン環の効果—」
前田 秀子, 津波古充朝, 中山 尋量	学会報告	第 (2009.10.09 東京). 「ジホスホン酸塩によるレボドパのホスホニル化」
Kobayashi N., Oyama H., Nakano M., Kanda T., Banzono E., Kato Y., Karibe T., Nishio T., Goto J.	論文	<i>Anal. Biochem.</i> <b>2009</b> , 387, 257-266. "'Cleavable' hapten-biotin conjugates: Preparation and use for the generation of anti-steroid single-domain antibody fragments."
Niwa T., Kobayashi T., Sun P., Goto J., Oyama H., Kobayashi N.	論文	<i>Anal. Chim. Acta</i> <b>2009</b> , 638, 94-100. "An enzyme-linked immunometric assay for cortisol based on idiotype-anti-idiotype reactions. "
Ihara M., Suzuki T., Kobayashi N., Goto J., Ueda H.	論文	<i>Anal. Chem.</i> <b>2009</b> , 81, 8298-8304. "Open-sandwich enzyme immunoassay for one-step noncompetitive detection of corticosteroid 11-deoxycortisol."
Koyama J., Takeuchi A., Tode C., Shimizu M., Morita I., Nobukawa M., Nobukawa M., Kobayashi N.	論文	<i>J. Chromatogr. B</i> <b>2009</b> , 877, 207-212. "Development of an LC-ESI-MS/MS method for the determination of histamine: Application to the quantitative measurement of histamine degranulation by KU812 cells. "
Koyama J., Takeuchi A., Morita I., Nishino Y., Shimizu M., Inoue M., Kobayashi N.	論文	<i>Bioorg. Med. Chem.</i> <b>2009</b> , 17, 7493-7499. "Characterization of emodin metabolites in Raji cells by LC-APCI-MS/MS."
小林 典裕	総説	臨床化学 <b>2009</b> , 38(4), 457-458. 「抗体工学が創造する”新世代”診断試薬」
小林 典裕	著書	『薬学分析科学の最前線』(じほう, <b>2009</b> ) .150-151.
小林 典裕	講演	富士フィルム寄付講座シンポジウム (2009.07.18 東京). 「低分子生理活性物質の免疫測定法: 現況と高感度化への抗体工学的アプローチ. 生体認識分子の進化と深化: 産学連携による工学的展開」
大山 浩之, 小林 典裕	学会報告	フィジカル・ファーマフォーラム (PPF2009) (2009.03.24 高槻). 「抗体工学による抗ハプテン抗体の親和力成熟と高感度免疫測定法への応用」
中野 正典, 番園 恵理佳, 大山 浩之, 小林 典裕	学会報告	日本薬学会第129年会 (2009.03.26 京都). 「可溶性抗ステロイド単一ドメイン抗体の調製と諸性質」
大山 浩之, 小林 典裕	学会報告	日本薬学会第129年会 (2009.03.26 京都). 「抗ステロイド抗体scFvの抗原結合活性に及ぼす枠組み領域置換の効果」
多賀 詩織, 大山 浩之, 加藤 芳徳, 小林 典裕	学会報告	日本薬学会第129年会 (2009.03.26 京都). 「変異抗体フラグメントを用いるエストラジオール免疫測定法の感度と特異性」
清水 真希, 小山 淳子, 竹内 敦子, 森田 いずみ, 小林 典裕	学会報告	日本薬学会第129年会 (2009.03.26 京都). 「LC-APCI-MS/MSを用いたエモジンのRaji細胞内代謝物の同定」
小山 淳子, 森田 いずみ, 小林 典裕, 岩佐 衣子, 守安 正恭	学会報告	日本薬学会第129年会 (2009.03.27 京都). 「プロトベルベリン型アルカロイドの生物活性と還元電位との相関性について」
森田 いずみ, 小山 淳子, 清水 真希, 小林 典裕, 信川 真智子, 信川 真貴子	学会報告	日本薬学会第129年会 (2009.03.27 京都). 「LC-APCI-MS/MSによる <i>Taxus yunnanensis</i> 中の成分研究」
大山 浩之, 加藤 芳徳, 小林 典裕	学会報告	日本分析化学会第58年会 (2009.09.24 札幌). 「免疫測定法の高感度化を目的とする抗エストラジオール抗体の試験管内affinity maturation」

番園 恵理佳, 下駄 祐子, 国広 俊臣, 大山 浩之, 小林 典裕, 太田 光熙	学会報告	日本分析化学会第58年会 (2009.09.24 札幌). 「受動喫煙モニタリングシステムの開発を目的とする新規モノクローナル抗コチニン抗体の創製」
多賀詩織, 小山淳子, 森田いずみ, 竹内敦子, 清水真希, 小林典裕	学会報告	日本薬学会第129年会 (2009.10.24 東大阪市). 「LC-ESI-MS/MS を用いたKU812 細胞由来プロスタグランジンD2 ならびにヒスタミンの分析」
森田 いずみ, 小山 淳子, 小林 典裕	学会報告	第28回メディシナルケミストリーシンポジウム (2009.11.25 東京). 「LC-MSを用いたケミカルメタボリトキシンの分析と抗アレルギー活性評価への応用」
番園 恵理佳, 下駄 祐子, 国広 俊臣, 大山 浩之, 小林 典裕, 太田 光熙	学会報告	第20回日本臨床化学会近畿支部総会 (2009.12.26 高槻). 「新規モノクローナル抗体を用いるヒト尿中コチニンのELISA」
Ueda M., Miyabe H., Nonoguchi N., Miyata O., Tamura O., Naito T.	論文	<i>Heterocycles</i> <b>2009</b> , 79(1), 739-751. "Intermolecular Carbon Radical Addition to Cyclic Nitron"
Ueda M., Miyabe H., Miyata O., Naito T.	論文	<i>Tetrahedron</i> <b>2009</b> , 65(7), 1321-1326. "Carbon Radical Addition to N-Sulfonylimines Mediated by Triethylborane or Zinc"
Rahaman H., Ueda M., Miyata O., Naito T	論文	<i>Org. Lett.</i> <b>2009</b> , 11(12), 2651-2654. "Two Novel Domino Reactions Triggered by Thiyl-Radical Addition to Vinylcyclopropyl Oxime Ether"
Ueda M., Miyabe H., Kimura T., Kondoh E., Naito T., Miyata O.	論文	<i>Org. Lett.</i> <b>2009</b> , 11(20), 4632-4635. "Aerobic Hydroxylation of N-Borylenamine: Triethylborane-mediated Hydroxyalkylation of $\alpha,\beta$ -Unsaturated Oxime Ether."
Miyata O., Takeda N., Naito T.	総説	<i>Heterocycles</i> <b>2009</b> , 78(4), 843-871. "Efficient Synthesis of Indoles and Benzo[b]furans via [3,3]-Sigmatropic Rearrangement of N-Trifluoroacetyl Enehydrazines and Enehydroxylamines"
上田 昌史	トピックス	Organometallic News <b>2009</b> , (3), 104-105. 「Pittsburgh大学 Peter Wipf研究室」
上田 昌史, 赤羽 昌明, 香川 真理子, 宮田 興子, 宮部 豪人, 松原 浩, 内藤 猛章	学会報告	日本薬学会第129年会 (2009. 3. 26 京都). 「アルキニルオキシムエーテル類への位置および立体選択的共役付加反応」
Rahaman H., Ueda M., Miyata O., Naito T	学会報告	日本薬学会第129年会 (2009. 3. 26 京都). 「A Tandem Thiol-Radical Addition and Hydroxylation or Aldol Type Reaction of Vinylcyclopropyl Oxime Ether」
宮田 興子, 宮川 仁紀, 上松 由里, 小田 真里江, 上田 昌史, 内藤 猛章	学会報告	日本薬学会第129年会 (2009. 3. 26 京都). 「シクロプロペンへの新規ラジカル付加反応の開発」
宮田 興子, 林 昌孝, P. Partha Mukhopadhyay, 上田 昌史, 内藤 猛章	学会報告	日本薬学会第129年会 (2009. 3. 28 京都). 「環状オキシムエーテル類のドミノ型反応を用いる置換含窒素複素環化合物の合成」
宮田 興子, 米井 裕幸, 武田 紀彦, 影平 俊介, 青木 由佳, 吉岡 広泰, 内藤 猛章	学会報告	日本薬学会第129年会 (2009. 3. 28 京都). 「 $\alpha$ -シアノO-アリアルオキシムエーテルのアルコール中での反応とベンゾフラン合成」
上田 昌史, 佐藤 あおい, 宮部 豪人, 内藤 猛章, 宮田 興子	学会報告	第59回 日本薬学会近畿支部総会・大会 ((2009. 10. 25 東大阪). 「アルキニルオキシムエーテル類の銀触媒閉環反応によるイソキサゾール合成」
宮田 興子, 林 昌孝, 上田 昌史, 三好 哲也, 内藤 猛章	学会報告	第39回複素環化学討論会 (2009. 10. 15 柏). 「スピロ環構造を有する含窒素複素環化合物類の合成研究」
Ueda M., Naito T., Miyata O.	学会報告	<i>The 11th International Kyoto Conference on New Aspects of Organic Chemistry</i> (2009. 11. 10 Kyoto). "Hydroxylation of $\alpha$ -Imino Radical: Hydroxysulfenylation and Hydroxyalkylation of $\alpha,\beta$ -Unsaturated imines"
Miyata O. Kawai S. Hayashi, M. Ueda M., Naito T.	学会報告	<i>The 11th International Kyoto Conference on New Aspects of Organic Chemistry</i> (2009. 11. 10 Kyoto). "Efficient Construction of 2-Substituted Tetrahydroquinolines from Indanes"
上田 昌史, 清水 秀憲, 木村 隆浩, 近藤 瑛子, 内藤 猛章, 宮田 興子	学会報告	第 35 回反応と合成の進歩シンポジウム (2009. 11. 17 金沢). 「共役イミン類のヒドロキシスルフィド化およびヒドロキシアシル化反応の開発」
Ueda M., Naito T., Miyata O.	学会報告	<i>4th Pacific Symposium on Radical Chemistry</i> (2009. 11. 20 Shanghai). "Hydroxyalkylation of $\alpha,\beta$ -Unsaturated oxime ether"
上田 昌史, 佐藤 あおい, 宮部 豪人, 内藤 猛章, 宮田 興子	学会報告	有機合成若手セミナー (2009. 11. 24 神戸). 「アルキニルオキシムエーテル類の新規合成法の開発とイソキサゾール合成」
宮田 興子, 林 昌孝, 上田 昌史, 三好 哲也, 内藤 猛章	学会報告	有機合成若手セミナー (2009. 11. 24 神戸). 「スピロ環構造を有する含窒素複素環化合物類の合成研究」
上田 昌史, 近藤 瑛子, 木村 隆浩, 宮部 豪人,	学会報告	有機合成若手セミナー. (2009. 11. 24 神戸). 「 $\alpha,\beta$ -不飽和オキシムエーテル類のヒドロキシアシル化反応の開発」

内藤 猛章、宮田 興子 Ueda M., Miyabe H. Miyata O., Naito T.	講演	<i>Organic Free Radicals-Ottawa (OFRO) 2009</i> (2009. 7. 29 Ottawa). "Domino Radical Reaction of Oxime Ethers"
Miyata O., Mukhopadhyay P. P., Naito T.	講演	<i>22th International Congress of Heterocyclic Chemistry</i> (2009. 8. 4 St. John's). "Heterocycle Synthesis Triggered by Oxygen-Nitrogen Bond Cleavage"
Miyata O.	講演	<i>National University of Kaohsiung</i> (2009. 9. 7 高雄). "Domino Type of Radical Reaction and Its synthetic Application"
Miyata O.	講演	<i>National Cheng kung University</i> (2009. 9. 8 台南). "Heterocycle Synthesis using Domino Reaction Triggered by O-N Bond Cleavage"
Iwasa K., Doi Y., Takahashi T., Cui W., Nishiyama Y., Tode C., Moriyasu M., Takeda K., Minami H., Ikezawa N., Sato F.	論文	<i>Phytochemistry</i> <b>2009</b> , 70, 198-206. "Enantiomeric Separation of Racemic 1-Benzyl-methyltetrahydro-isoquinolines on Chiral Columns and Chiral Purity Determinations of the O-methylated Metabolites in Plant Cell Cultures by HPLC-CD On-line Coupling in Combination with HPLC-MS"
Iwasa K., Okada S., Nishiyama Y., Takeuchi S., Moriyasu M., Tode M., Sugiura M., Takeuchi A., Tokuda H., Takeda K., Liu Y.-N., Wu P.-C., Bastow K. F., Akiyama T., Li K.-H.	論文	<i>Heterocycles</i> <b>2009</b> , 77, 1355-1369. "Geranyl Derivatives of Salisolinol Show increased Biological Activities"
Deeplard K., Kawanishi K., Moriyasu M., Pengusparp T., Suttisri R.	論文	<i>Thai J. Pharm Sci.</i> <b>2009</b> , 33, 84-90. "Flavonoid Glycosides from the Leaves of <i>Uvaria rufa</i> with Advanced Glycation and End-products Inhibitory Activity"
Ikezawa N., Iwasa K. Sato F.	論文	<i>Plant Cell Rep.</i> <b>2009</b> , 28, 123-133. "CYP719A subfamily of cytochrome P450 oxygenases and isoquinoline alkaloid biosynthesis in <i>Eschscholzia californica</i> "
守安正恭ほか	著書	『薬学生のための薬用植物学・生薬学テキスト(編集 高石善久、馬場きみ江、本多義昭)』(廣川書店, <b>2009</b> ) ..
守安正恭、市丸百代ほか	著書	『薬学生のための天然物化学テキスト(編集 高石善久、馬場きみ江、本多義昭)』(廣川書店, <b>2009</b> ) ..
福田 正充, 杉山 暁史, 高梨 功二郎, 土反 伸 和, 佐藤 修正, 田畑 哲 之, 矢崎 一史	学会報告	第19回植物微生物研究会 (2009.09.09 長野). 「ミヤコグサABCタンパク質LjABCG1の発現および機能解析」
中村 元昭, 塩野 克宏, 安藤 美保, 松尾 優一, 土反 伸和, 藤本 優, 高橋 宏和, 高牟礼 逸朗, 矢崎 一史, 堤 伸浩, 中 園 幹生, 加藤 清明	学会報告	日本育種学会第116回講演会 (2009.09.26 北海道). 「イネのABCトランスポーターRCN1は耐湿性獲得に重要な根への効率的 酸素運搬に関与する」
土反 伸和, 伊藤 慎吾, 森田 匡彦, 澤田 啓介, 南 翔太, アラングーセン ス, デルクインゼ, 森山 芳則, 矢崎 一史	学会報告	第27回日本植物細胞分子生物学会大会 (2009.07.31 神奈川). 「ニコチン転流に関わるタバコMATE型トランスポーターの機能解析」
南 翔太, 土反 伸和, 森 田 匡彦, 澤田 啓介, 伊 藤 慎悟, デルクインゼ, アラングーセンス, 守安 正恭, 森山 芳則, 矢崎 一史	学会報告	第32回日本分子生物学会年会 (2009.12.10 神奈川). 「Cloning and characterization of jasmonate-inducible transporter from <i>Nicotiana tabacum</i> 」
土井康裕, 岩佐衣子, 守 安正恭, 竹村知也, 佐藤 文彦	学会報告	日本薬学会第129年会 (2009.03.26 京都). 「1-Benzyltetrahydroisoquinoline 型アルカロイドのO-methyl 化について」
平井啓太, 川西和子, 守 安正恭, 松下 亨, 長谷川 博	学会報告	日本薬学会第129年会 (2009.03.26 京都). 「5-MeO-Tryptamine 系化合物投与によるマウスの薬理学的行動」
守安正恭(ほか生薬皮質 集談会メンバー)	学会報告	第38回生薬分析シンポジウム (2009.12.03 大阪). 「生薬品質集談会報告第39報 ―ゴミンについて HPLCによる分析法の検討と市場品の分析―」
守安正恭(ほか生薬皮質 集談会メンバー)	学会報告	第38回生薬分析シンポジウム (2009.12.03 大阪). 「生薬品質集談会報告第40報 ―キササゲについて(補遺)―」
Sato F., Ikezawa N., Iwasa K., Takemura T.	学会報告	<i>16th International Conference on Cytochrome P450</i> (2009.07.21 Okinawa). "Novel P450s in isoquinoline alkaloid biosynthesis"
Nishimura K., Takenaka Y., Kishi M., Tanahashi T., Yoshida H., Okuda	論文	<i>Chem. Pharm. Bull.</i> <b>2009</b> , 57(5), 476-480. "Synthesis and DNA Polymerase $\alpha$ and $\beta$ Inhibitory Activity of Alkyl p-coumarates and Related Compounds"

C., Mizushina Y.		
Tanahashi T., Takenaka Y., Okazaki N., Koge M., Nagakura N., Nishi T.	論文	<i>Phytochemistry</i> <b>2009</b> , 70(17-18), 2072-2077. "Iridoid glucosides and unusual recycled secoiridoid aglycones <i>Ligustrum vulgare</i> ."
Yamada K., Yamashita M., Sumiyoshi T., Nishimura K., Tomioka K.	論文	<i>Org. Lett.</i> <b>2009</b> , 11(7), 1631-1633. "Total Synthesis of (-)-Lycorine and (-)-2-epi-Lycorine by Asymmetric Conjugate Addition Cascade"
Yamashita M., Kaneko M., Tokuda H., Nishimura K., Kumeda Y., Iida A.	論文	<i>Bioorg. Med. Chem.</i> <b>2009</b> , 17(17), 6286-6291. "Synthesis and evaluation of bioactive naphthoquinones from the Brazilian medicinal plant, <i>Tabebuia avellanedae</i> "
神前 祥子, 竹仲 由希子, 棚橋 孝雄, 秋田 徹	学会報告	日本薬学会第129年会 (2009.3.28 京都). 「 <i>Mammea siamensis</i> の成分研究3」
堀居 真二, 西村 克己, 棚橋 孝雄, 杉本 由美, 山田 潤	学会報告	日本薬学会第129年会 (2009.3.28 京都). 「蓮子心のアルカロイドNeferineの立体異性体の合成と薬理活性」
山田 潤, 杉本 由美, 西村 克己, 伊藤 篤子, 棚橋 孝雄, 中島 宏, 大城 日出男, 孫 樹建	学会報告	日本薬学会第129年会 (2009.3.28 京都). 「蓮子心に含有されるアルカロイドに関する研究(第10報)強制水泳試験におけるNeferineの不動時間短縮作用とセロトニン受容体との関連」
山下 光明, 金子 雅文, 徳田 春邦, 西村 克己, 久米田 裕子, Helmut Bacowski, 飯田 彰	学会報告	日本薬学会第129年会 (2009.3.26 京都). 「ブラジル原産 <i>Tabebuia avellanedae</i> 由来活性成分の立体選択的合成および生物活性研究」
Duy Hoang Le, 竹仲 由希子, 棚橋 孝雄	学会報告	第8回日本地衣学会 (2009.7.12 亀岡). 「Lichen substances from <i>Rimelia clavulifera</i> in Vietnam」
神前 祥子, 竹仲 由希子, 棚橋 孝雄, 秋田 徹	学会報告	日本生薬学会第56回年会 (2009.10.3 京都). 「 <i>Mammea siamensis</i> の成分研究4」
杉本 由美, 山田 潤, 西村 克己, 伊藤 篤子, 棚橋 孝雄, 中島 宏, 大城 日出男, 孫 樹建	学会報告	日本生薬学会第56回年会 (2009.10.3 京都). 「蓮子心に含有されるアルカロイドの研究(第11報)Armejavineの中樞作用について」
西村 克己, 堀居 真二, 棚橋 孝雄	学会報告	第59回日本薬学会近畿支部総会・大会 (2009.10.24 東大阪). 「不斉Pictet-Spengler反応によるAutumnalineの合成」
西村 克己, 堀居 真二, 棚橋 孝雄, 杉本 由美, 山田 潤	学会報告	第51回天然有機化合物討論会 (2009.10.17 名古屋). 「蓮子心のアルカロイドおよび誘導体の合成と薬理活性」
山崎 旭, 浅井 拓也, 松永 将義, 水品 善之, 松原主典, 棚橋 孝雄	学会報告	平成21年度日本醸造学会 (2009.9.18 東京). 「酒粕の新規機能性に関する研究」
Tanaka M., Tanaka T., Ohta S., Kawakami T., Konno H., Akaji K., Aimoto S., Saito H.	論文	<i>J. Peptide Sci.</i> <b>2009</b> , 15, 36-42. "Evaluation of Lipid-Binding Properties of the N-Terminal Helical Segments in Human Apolipoprotein A-I Using Fragment Peptides"
Koyama M., Tanaka M., Dhanasekaran P., Lund-Katz S., Phillips M.C., Saito H.	論文	<i>Biochemistry</i> <b>2009</b> , 48, 2529-2537. "Interaction between the N- and C-Terminal Domains Modulates the Stability and Lipid Binding of Apolipoprotein A-I"
Tanaka T., Tanaka M., Sugiura M., Kawakami T., Aimoto S., Saito H.	論文	<i>Chem. Pharm. Bull.</i> <b>2009</b> , 57, 499-503. "Deletion of Single Amino Acid E235 Affects the Structure and Lipid Interaction of Human Apolipoprotein A-I C-Terminal Peptides"
Minagawa H., Gong J.-S., Jung C.-G., Watanabe A., Lund-Katz S., Phillips M.C., Saito H., Michikawa M.	論文	<i>J. Neurosci. Res.</i> <b>2009</b> , 87, 2498-2508. "Mechanism Underlying Apolipoprotein E (ApoE) Isoform-Dependent Lipid Efflux from Neural Cells in Culture"
Alexander E.T., Tanaka M., Kono M., Saito H., Rader D.J., Phillips M.C.	論文	<i>J. Lipid Res.</i> <b>2009</b> , 50, 1409-1419. "Structural and Functional Consequences of the Milano Mutation (R173C) in Human Apolipoprotein A-I"
Ohta S., Tanaka M., Sakakura K., Kawakami T., Aimoto S., Saito H.	論文	<i>Chem. Phys. Lipids</i> <b>2009</b> , 162, 62-68. "Defining Lipid-Binding Regions of Human Serum Amyloid A Using Its Fragment Peptides"
Kamigauchi M, Noda Y, Iwasa K, In Y, Ishida T	論文	<i>X-ray Struct. Anal. Online</i> <b>2009</b> , 25(1), 1-2. "Crystal Structure of (dl)-Corynoxine"
Nagata H, Machida Y, Nishi H, Kamigauchi M, Minoura K, Ishida T	論文	<i>Bull. Chem. Soc. Jpn.</i> <b>2009</b> , 82(2), 219-229. "Structural Requirement for Chiral Recognition of Amino Acid by (18-Crown-6)-tetracarboxylic Acid: Binding Analysis in Solution and Solid States"
Kamigauchi M, In Y, Ishida T	論文	<i>X-ray Struct. Anal. Online</i> <b>2009</b> , 25(3), 27-28. "X-ray Structure Analysis of (dl)-DeN-corynoline, Derived from Hexahydrobenzo[c]phenanthridine Type Alkaloid Corynoline"

Kamigauchi M, Maekawa Y, In Y, Ishida T	論文	<i>X-ray Struct. Anal. Online</i> <b>2009</b> , 25(8), 87-88. "X-ray Structure Analysis of (d)-11-Oxocorynoline, a Hexahydrobenzo[c]phenanthridine-type Alkaloid"
田中 俊充, 岩田 真季, 河野 百恵, 田中 将史, Sissel Lund-Katz, 斎藤 博幸	学会報告	日本薬学会第129年会 (2009.03.27 京都). 「apoA-I Nichinan脂質搬出機能部位ペプチドの脂質膜との相互作用」
河野 百恵, 田中 将史, Lund-Katz S., Phillips M.C., 斎藤 博幸	学会報告	日本薬学会第129年会 (2009.03.27 京都). 「C末端ヘリックス変異体apoA-I Nichinanの構造と脂質結合性の評価」
小山 真央, 田中 将史, Lund-Katz S., Phillips M.C., 斎藤 博幸	学会報告	日本薬学会第129年会 (2009.03.27 京都). 「環境感受性蛍光プローブ標識によるアポA-IのC末端ヘリックス領域の構造評価」
高木 千佳, 源川 博久, Lund-Katz S., Phillips M.C., 道川 誠, 斎藤 博幸	学会報告	日本薬学会第129年会 (2009.03.27 京都). 「アポE3 N末ドメインの構造と脂質搬出機能に及ぼすダイマー化の影響」
前川友紀子, 杉浦真紀子, 竹内敦子, 友尾幸司, 石田寿昌, 上垣内みよ子	学会報告	日本薬学会第129年会 (2009.3.27 京都). 「Lysozyme 糖化反応生成物の構造について」
斎藤 博幸, 河野 百恵, 田中 将史, Lund-Katz S., Phillips M.C.	学会報告	日本膜学会第31年会 (2009.05.21 東京). 「球形脂質粒子結合アポA-IIにおけるN末ドメインコンフォメーションの柔軟性」
小山 真央, 河野 百恵, 田中 将史, Lund-Katz S., Phillips M.C., 斎藤 博幸	学会報告	日本膜学会第31年会 (2009.05.21 東京). 「アポA-Iの脂質結合性に及ぼすN末ヘリックスバンドルの構造安定性の影響」
前川友紀子, 上垣内みよ子, 友尾幸司, 石田寿昌	学会報告	日本生薬学会第56回年会 (2009.10.3 京都). 「CinnamaldehideとLysozymeの反応生成物であるCinnamylidene-lysozymeの結晶構造」
高木 千佳, 岡田 愛弓, 奥村 優介, Lund-Katz S., Phillips M.C., 斎藤 博幸	学会報告	第82会日本生化学大会 (2009.10.22 神戸). 「C末端ヘリックス領域欠損変異体を用いたアポEアイソフォームの構造と機能評価」
田中 将史, 田中 俊充, Lund-Katz S., Phillips M.C., 斎藤 博幸	学会報告	第46回ペプチド討論会 (2009.11.4 北九州). 「アポA-IのC末端領域における単一アミノ酸欠失の構造的・機能的意義」
田中 将史, 大田 慎也, 坂倉 広大, 川上 徹, 相本 三郎, 斎藤 博幸	学会報告	膜シンポジウム2009 (2009.11.18 広島). 「脂質代謝異常に関与する血清アミロイドAの脂質膜結合機構の解明」
河野 百恵, 田中 将史, Lund-Katz S., Phillips M.C., 斎藤 博幸	学会報告	第31回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム (2009.11.30 大阪). 「部位特異的蛍光標識によるHDL結合アポA-I構造の解析」
河野 百恵, 田中 俊充, 田中 将史, Lund-Katz S., Phillips M.C., 斎藤 博幸	学会報告	第31回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム (2009.11.30 大阪). 「ApoA-I Nichinan ( $\Delta E235$ ) のコレステロール搬出機能障害はC末端ヘリックス形成異常に起因する」
Igarashi T., Iwakawa S.	論文	<i>Biol. Pharm. Bull.</i> <b>2009</b> , 32(2), 304-307. "Effect of gender on theophylline clearance in the asthmatic acute phase in Japanese pediatric patients"
Tatsumi A., Ikegami Y., Morii R., Sugiyama M., Kadobayashi M., Iwakawa S.	論文	<i>Biol. Pharm. Bull.</i> <b>2009</b> , 32(3), 517-519. "Effect of ethanol on S-warfarin and diclofenac metabolism by recombinant human CYP2C9.1"
Ikehata M., Yumoto R., Kato Y., Nagai J., Takano M.	論文	<i>Biol. Pharm. Bull.</i> <b>2009</b> , 32(10), 1765-1769. "Mechanism of insulin uptake in rat alveolar type II and type I-like epithelial cells"
上田宏, 出水睦子, 大澤 万智子, 千原里美, 中西 裕子, 前田千秋, 矢野啓子, 木村文彦, 岩川精吾	論文	癌と化学療法 <b>2009</b> , 36(6), 789-793. 「大腸がんのmFOLFOX療法時における好中球減少に対する5-FU急速静脈内投与中止の影響: 減量法との比較」
新藤正人, 小野田裕子, 占部彌昌, 田中久美子, 中島香奈子, 岩川精吾	論文	医療薬学 <b>2009</b> , 35(9), 655-661. 「ランク付け評価法による服薬指導の効果検討(第5報)ランク付け評価法と分散構造分析を用いた解析」
川寄英二, 森本由美, 鎌倉 彩, 國廣俊臣, 弘岡貴子, 岩川精吾	論文	日本病院薬剤師会雑誌 <b>2009</b> , 45(12), 1595-1598. 「外来化学療法実施乳がん患者における悪心・嘔吐対策変更による有害事象発現への影響」
猪爪信夫, 岩川精吾, 上野和行, 加藤美紀, 黒沢 菜穂子, 斎藤嘉津彦, 菅原和信, 戸田貴大, 豊口 禎子, 灘井雅行, 新岡文典, 長谷川高明, 平田純	著書	『臨床への薬物動態学』(廣川書店, <b>2009</b> ) ..

生、福島昭二、和田育男、渡邊真知子、渡辺善照		
石塚良子、乾賢一、岩川精吾、奥村勝彦、尾崎淳子、桂敏也、木下淳、駒田富佐夫、杉山正敏、高山明、谷川原祐介、寺田智祐、西口工司、橋口正行、望月真弓、安原真人、矢野育子、矢野義孝、若杉博子	著書	『医療薬学第5版』(廣川書店, 2009) ..
青木正忠、石橋弘行、井出速雄、岩川精吾、金尾義治、河島進、小平いく子、坂本正徳、佐藤光利、重信弘毅、菅原和信、杉本功、杉山正敏、田代真一、玉利一也、辻彰、長友孝文、長嶺幸子、堀坂和敬、他	著書	『2009年版薬剤師のため常用医薬品情報集』(廣川書店, 2009) ..
上田久美子、吉田真由美、上田麻衣子、吉村善榮、岩川精吾	学会報告	日本薬学会第129年会 (2009.03.26 京都). 「脂質異常症ラットにおける脂溶性薬物アミオダロンの体内動態」
湯元良子、加藤祐貴、池畑美香、永井純也、高野幹久	学会報告	日本膜学会第31年会 (2009.05.21 東京). 「肺胞上皮II型細胞とI型細胞における物質輸送システムの発現・機能の比較検討」
加藤祐貴、湯元良子、池畑美香、中村孝佑、永井純也、高野幹久	学会報告	日本薬学会 (2009.03.28 京都). 「ラット肺胞上皮II型、I型細胞におけるP-glycoproteinの発現・機能の比較検討とステロイド処置の影響」
岩川精吾	講演	兵庫県病院薬剤師会第2回卒後教育研修会 (2009.02.19 姫路). 「初めての論文作成: 雑誌への投稿を目指して」
1. Anggrahini DW, Emoto N, Nakayama K, Widyantoro B, Adiarto S, Iwasa N, Nonaka H, Rikitake Y, Kisanuki YY, Yanagisawa M, Hirata KI.	論文	<i>Cardiovasc Res.</i> <b>2009</b> , 82(1), 143-151. "Vascular endothelial cell-derived endothelin-1 mediates vascular inflammation and neointima formation following blood flow cessation."
2. Nishinaga H, Komatsu R, Doi M, Fustin JM, Yamada H, Okura R, Yamaguchi Y, Matsuo M, Emoto N, Okamura H.	論文	<i>Biomed Res.</i> <b>2009</b> , 30(2), 87-93. "Circadian expression of the Na <sup>+</sup> /H <sup>+</sup> exchanger NHE3 in the mouse renal medulla. "
3. Vu H, Echigo T, Sagawa R, Yagi K, Shiba M, Higuchi K, Arakawa T, Yagi Y.	論文	<i>Comput Biol Med.</i> <b>2009</b> , 39(1), 16-26. "Detection of contractions in adaptive transit time of the small bowel from wireless capsule endoscopy videos"
4. H. Vu, T. Echigo, Sagawa R., Yagi K., Shiba M., Higuchi K., Arakawa T., Yagi Y.	論文	<i>IEICE Transactions on Information and Systems.</i> <b>2009</b> , E92-D(3), 512-528. "Controlling the Display of Capsule Endoscopy Video for Diagnostic Assistance. "
1. 松田裕子、沼田千賀子、中尾幸代、道上敬、長野恭久、山中智香、明田健史、谷口美保子、水谷宏恵、木口敏子、八木敬子、江本憲昭、平井みどり	論文	<i>医療薬学</i> <b>2009</b> , 35(12), 846-855. "現役薬剤師参加の服薬指導実習の実践とその教育効果に関する調査"
5. Masuda Y, Emoto N, Nonaka H, Yagita K, Todo T, Okamura H, Yokoyama M, Hirata KI.	論文	<i>Kobe J. Med. Sci.</i> <b>2009</b> , 54(6), E264-271. "Role of angiotensin and the clock system in the circadian regulation of plasminogen activator inhibitor-1. "
Kazuhiko Nakayama, Noriaki Emoto, Dyah Wulan Anggrahini, Bambang Widyantoro, Kazuya Miyagawa, Vita Yanti Anggraeni, Ken-ichi Hirata.	学会報告	<i>ET-11: Eleventh International Conference on Endothelin (Montreal)</i> . "Attenuated collateral formation under diabetes is improved by genetical suppression of endothelin converting enzyme-1"
Kazuya Miyagawa, Noriaki Emoto, Nur Arfian, Dyah Samti Mayasari, Vita Yanti	学会報告	<i>ET-11: Eleventh International Conference on Endothelin (Montreal)</i> . "Doxorubicin-induced cardiomyopathy is attenuated in ECE-1 heterozygous knockout mice via preventing the impairment of cardiac mitochondrial biogenesis"

Anggraeni, Hirowati Ali, BamBang Widyantoro, Kazuhiko Nakayama and Ken-ichi Hirata		
Bambang Widyantoro, Noriaki Emoto, Kazuhiko Nakayama, Dyah Wulan Anggrahini, Kazuya Miyagawa, Vita Yanti Anggraeni, Takashi Suzuki, Yaz Y. Kisanuki, Masashi Yanagisawa, Kenichi Hirata	学会報告	ET-11 :Eleventh International Conference on Endothelin ( Montreal). "Endothelial Cell-derived Endothelin-1 Promotes Cardiac Fibrosis in Diabetic Heart Through Stimulation of Endothelial to Mesenchymal Transition."
Bambang Widyantoro, Noriaki Emoto, Kazuhiko Nakayama, Dyah Wulan Anggrahini, Kazuya Miyagawa, Vita Yanti Anggraeni, Takashi Suzuki, Yaz Y. Kisanuki, Masashi Yanagisawa, Kenichi Hirata	学会報告	ET-11 :Eleventh International Conference on Endothelin ( Montreal). "Endothelial Cell-derived Endothelin-1 Regulates Proteinuria and Glomerular Barrier Function in Diabetic Mice."
Vita Yanti Angraeni, Noriaki Emoto, Hidemi Nonaka, Kazuhiko Nakayama, Dyah Wulan Anggrahini, Bambang Widyantoro, Kazuya Miyagawa, Hirowati Ali, Kenichi Hirata	学会報告	第32回日本高血圧学会 ( 大津). 「Disruption of Cry genes Exaggerate Neointimal Formation in Mouse Flow Cessation Model.」
Kazuya Miyagawa, Noriaki Emoto, Nur Arfian, Dyah Samti Mayasari, Vita Yanti Anggraeni, Hirowati Ali, BamBang Widyantoro, Kazuhiko Nakayama and Ken-ichi Hirata	学会報告	AHA Scientific Session 2009 ( Orlando). "Attenuation of Doxorubicin-Induced Cardiomyopathy in Endothelin Converting Enzyme-1 Heterozygous Knockout Mice through Preventing the impairment of Cardiac Mitochondrial Biogenesis."
寺岡 麗子, 横山 郁子, 杉本 功, 牛尾 真奈美, 北河 修治	論文	医療薬学 <b>2009</b> , 35(6), 395-402. "フロセミド錠の光安定性に及ぼす着色PTP包装材料の影響"
Morita S., Ueda K., Kitagawa S.	論文	J. Lipid Res. <b>2009</b> , 50(9), 1945-4952. "Enzymatic measurement of phosphatidic acid in cultured cells"
Teraoka R., Matsushima Y., Sugimoto I., Inoue K., Morita S., Kitagawa S.	論文	Chem. Pharm. Bull. <b>2009</b> , 57(12), 1343-1347. "Effect of pharmaceutical excipients on the stability of trichlormethiazide tablets under humid conditions"
Kitagawa S., Tanaka Y., Tanaka M., Endo K., Yoshii A.	論文	J. Pharm. Pharmacol. <b>2009</b> , 61(7), . "Enhanced skin delivery of quercetin by microemulsion"
森田 真也	著書	『薬物トランスポーター活用ライブラリー(乾賢一/編) MDR3 (ABCB4)』(羊土社, <b>2009</b> ) .131-132.
森田 真也, 植田 和光, 北河 修治	学会報告	フィジカル・ファーマフォーラム2009 (2009.03.24 高槻). 「ABCB4とPEMTIによる細胞膜整合性の調節」
井上 佳奈, 森田 真也, 寺岡 麗子, 北河 修治	学会報告	日本薬学会第129年会 (2009.03.28 京都). 「種々のマイクロエマルジョンゲルを用いたゲニステインの皮膚へのデリバリー」
吉井 健太, 森田 真也, 寺岡 麗子, 北河 修治	学会報告	日本薬学会第129年会 (2009.03.28 京都). 「クロロゲン酸の皮膚へのデリバリーと抱接安定化」
湯谷 玲子, 森田 真也, 寺岡 麗子, 北河 修治	学会報告	日本薬学会第129年会 (2009.03.28 京都). 「マイクロエマルジョンおよびマイクロエマルジョンゲルを用いたクルクミンの皮膚へのデリバリー」
谷口 貴章, 森田 真也, 寺岡 麗子, 北河 修治	学会報告	日本薬学会第129年会 (2009.03.28 京都). 「構成成分の異なるマイクロエマルジョンを利用した(-)-エピカテキンの皮膚へのデリバリー」
木暮 晃士, 寺岡 麗子, 森田 真也, 北河 修治	学会報告	日本薬学会第129年会 (2009.03.28 京都). 「ニューキノロン系抗菌薬であるノルフロキサシン結晶多形の光安定性評価」
森田 真也, 北河 修治	学会報告	日本薬学会第129年会 (2009.03.28 京都). 「ホスファチジン酸酵素定量法の開発」
吉井 健太, 森田 真也, 寺岡 麗子, 北河 修治	学会報告	日本薬剤学会第24年会 (2009.05.21 静岡). 「マイクロエマルジョンを用いたクロロゲン酸の皮膚へのデリバリーと紫外線障害の防御」
湯谷 玲子, 森田 真也, 寺岡 麗子, 北河 修治	学会報告	日本薬剤学会第24年会 (2009.05.21 静岡). 「マイクロエマルジョンを用いたクルクミンとレスペラトロールの皮膚へのデリバリー」
谷口 貴章, 森田 真也, 寺岡 麗子, 北河 修治	学会報告	日本薬剤学会第24年会 (2009.05.21 静岡). 「構成成分の異なるマイクロエマルジョンを利用した(-)-エピカテキンの皮膚へのデリバリー」

木暮 晃士, 寺岡 麗子, 森田 真也, 北河 修治	学会報告	日本薬剤学会第24年会 (2009.05.21 静岡). 「ニューキノロン系抗菌薬ノルフロキサシン五水和物の光安定性評価」
黒田 絵里, 寺岡 麗子, 森田 真也, 北河 修治	学会報告	日本薬剤学会第24年会 (2009.05.21 静岡). 「表面処理した酸化チタンがトリクロルメチアジドの光安定性に及ぼす影響」
森田 真也, 植田 和光, 北河 修治	学会報告	日本薬剤学会第24年会 (2009.05.22 静岡). 「酵素蛍光法による細胞内ホスファチジン酸濃度の高感度特異的定量」
Morita S., Ueda K., Kitagawa S.	学会報告	<i>The 5th Takeda Science Foundation Symposium on PharmaSciences</i> (2009.05.25 Tokyo). "A novel enzymatic method for measuring phosphatidic acid in cultured cells"
森田 真也, 植田 和光, 北河 修治	学会報告	第4回トランスポーター研究会 (2009.05.23 東京). 「ABC4とPEMTによる細胞膜胆汁酸耐性の調節」
森田 真也, 植田 和光, 北河 修治	学会報告	第51回日本脂質生化学会 (2009.07.30 名古屋). 「酵素蛍光法による細胞内ホスファチジン酸の定量」
Morita S., Ueda K., Kitagawa S.	学会報告	<i>7th FEBS Lipid Signaling and Disease</i> (2009.09.09 Ortona). "A novel enzymatic method for measuring phosphatidic acid in cultured cells"
森田 真也, 植田 和光, 北河 修治	学会報告	日本薬物動態学会第24回年会 (2009.11.27 京都). 「ABC4(MDR3)とPEMTによる細胞膜リン脂質組成と胆汁酸耐性の協同的調節」
Yutani R., Morita S., Teraoka R., Kitagawa S.	学会報告	第31回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム (2009.11.30 茨木). 「Enhanced cutaneous delivery of polyphenols by Aerosol-OT microemulsions and its mechanism」
Yoshii K., Morita S., Teraoka R., Kitagawa S.	学会報告	第31回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム (2009.11.30 茨木). 「Skin delivery of chlorogenic acid and protection against UV-induced skin damage」
Taniguchi T., Morita S., Teraoka R., Kitagawa S.	学会報告	第31回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム (2009.11.30 茨木). 「Dependency on microemulsion composition for skin delivery of (-)-epicatechin and quercetin」
Morita S., Kitagawa S.	学会報告	第31回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム (2009.11.30 茨木). 「Function of phosphatidylethanolamine N-methyltransferase (PEMT) analyzed by enzymatic measurements of phospholipids」
沼田千賀子, 寺岡麗子, 江本憲昭, 八木敬子, 平井みどり, 北河修治	学会報告	第19回 日本医療薬学会年会 (2009.10.24 長崎). 「経皮吸収型フェンタニル製剤の貼付後の皮膚障害 ーリザーバー型とMT型の比較ー」
Kuwabara A., Tanaka K., Tsugawa N., Nakase H., Tsuji H., Shide K., Kamao M., Chiba T., Inagaki N., Okano T., Kido S.	論文	<i>Osteoporos. Int.</i> <b>2009</b> , 20(6), 935-942. "High prevalence of vitamin K and D deficiency and decreased BMD in inflammatory bowel disease. "
Himeno M., Tsugawa N., Kuwabara A., Fujii M., Kawai N., Kato Y., Kihara N., Toyoda T., Kishimoto M., Ogawa Y., Kido S., Noike T., Okano T., Tanaka K.	論文	<i>J. Bone. Miner. Metab.</i> <b>2009</b> , 27(6), 733-737. "Effect of Vitamin D Supplementation in The Institutionalized Elderly. "
Ohta H., Kuroda T., Onoe Y., Orito S., Ohara M., Kume M., Harada A., Tsugawa N., Okano T., Sasaki S.	論文	<i>J. Bone. Miner. Metab.</i> <b>2009</b> , 27(6), 682-688. "The Impact of Lifestyle Factors on Serum 25-Hydroxyvitamin D Levels: A Cross-sectional Study in Japanese Women Aged 19-25 Years."
Nakamura K., Saito T., Yoshihara A., Ishikawa M., Tsuchiya Y., Oshiki R., Kobayashi R., Maruyama K., Hyodo K., Nashimoto M., Tsugawa N., Okano T., Oyama M., Yamamoto M.	論文	<i>Public Health Nutr.</i> <b>2009</b> , 12(12), 2366-2370. "Low Calcium Intake Is Associated with Increased Bone Resorption in Postmenopausal Japanese Women: Yokogoshi Study. "
Kuwabara A., Tsugawa N., Tanaka K., Fujii M., Kawai N., Mukae S., Kato Y., Kojima Y., Takahashi K., Omura K., Kagawa R., Inoue A., Noike T., Kido S., Okano T.	論文	<i>J. Nutr. Sci. Vitaminol.</i> <b>2009</b> , 55(6), 453-458. "Improvement of Vitamin D Status in Japanese Institutionalized Elderly by Supplementation with 800 IU of Vitamin D3."
岡野登志夫	総説	<i>臨床栄養</i> <b>2009</b> , 114(5), 477-482. 「特集:骨粗鬆症—栄養からどのように支えるか、各種ビタミンと骨粗鬆症」
岡野登志夫	総説	<i>臨床栄養</i> <b>2009</b> , 115(5), 518-527. 「特集:日本人の食事摂取基準2010年版[2]、脂溶性ビタミン」
岡野登志夫	総説	<i>Medical Technology</i> <b>2009</b> , 37(3), 222-223. 「血中ビタミンD、K測定の骨粗鬆症予防における活用」
岡野登志夫、中川公恵、鎌尾まや	総説	<i>CLINICAL CALCIUM</i> <b>2009</b> , 19(12), 69-77. 「ビタミンKの生体内代謝:ビタミンK1のMK-4への変換を中心として」

岡野登志夫	総説	ビタミン <b>2009</b> , 83(1), 1-8.「ビタミンDの代謝および生理活性発現機構の解明と栄養疫学研究」
津川尚子, 岡野登志夫	総説	ビタミン <b>2009</b> , 83(12), 651-658.「ビタミンDと骨特集:ビタミンと高齢者、ビタミンDと骨粗鬆症」
岡野登志夫, 津川尚子	総説	骨粗鬆症 <b>2009</b> , 8(4), 282-290.「特集:ビタミンDと骨粗鬆症、日本人における血中ビタミンD濃度とその臨床的意義」
岡野登志夫	資料	ファルマシア <b>2009</b> , 11, 1152-1155.「日本人の食事摂取基準(2010年版)の概要」
岡野 登志夫	著書	『日本人の食事摂取基準[2010年版]』(第一出版, <b>2009</b> ) .16-17.
岡野 登志夫	著書	『New衛生薬学』(廣川書店, <b>2009</b> ) .218-397.
津川尚子	著書	『New衛生薬学』(廣川書店, <b>2009</b> ) .251-273.
中川公恵	著書	『New衛生薬学』(廣川書店, <b>2009</b> ) .289-354.
岡野登志夫	著書	『衛生薬学サブノート』(廣川書店, <b>2009</b> ) .81-100.
津川尚子	著書	『衛生薬学サブノート』(廣川書店, <b>2009</b> ) .63-74.
岡野登志夫	翻訳	『骨の健康と栄養科学大辞典』(西村書店, <b>2009</b> ) .219-241.
津川尚子	翻訳	『骨の健康と栄養科学大辞典』(西村書店, <b>2009</b> ) .213-218.
中川公恵, 奥田直子, 弓削直人, 澤田夏美, 須原義智, 岡野登志夫	学会報告	第12回Vitamin K & Aging研究会 (2009.2.14 東京).「骨におけるMenaquinone-4(MK-4)の生合成に対するBisphosphonateおよびStatinの影響」
岡野登志夫, 中川公恵, 奥田直子, 弓削直人, 澤田夏美, 須原義智	学会報告	第12回Vitamin K & Aging研究会 (2009.2.14 東京).「軟骨細胞分化におけるMenaquinone-4(MK-4)の生合成の関与」
津川尚子, 小池さやか, 土井綾子, 高瀬友貴, 峯上卓也, 鎌尾まや, 須原義智, 上西一弘, 石田裕美, 岡野登志夫	学会報告	日本薬学会第129年会 (2009.3.26. 京都).「曲率解析法を用いた新規ビタミンK栄養評価法の開発」
鎌尾まや, 津川尚子, 須原義智, 宮内章光, 越山裕行, 中村嘉夫, 真尾泰生, 原国政裕, 上西一弘, 田中 清, 岡野登志夫	学会報告	日本薬学会第129年会 (2009.3.26. 京都).「沖縄・兵庫・札幌の3地域における血中ビタミンDの濃度調査」
中川公恵, 内野由理, 澤田夏美, 須原義智, 岡野登志夫	学会報告	日本薬学会第129年会 (2009.3.26. 京都).「ビタミンK同族体の骨におけるMenaquinone-4への変換」
奥田直子, 中川公恵, 須原義智, 岡野登志夫	学会報告	日本薬学会第129年会 (2009.3.28. 京都).「ヒト骨芽細胞のmenaquinone-4生合成に対するキノ還元酵素阻害剤およびメバロン酸代謝経路阻害剤の影響」
弓削直人, 中川公恵, 澤田夏美, 須原義智, 岡野登志夫	学会報告	日本薬学会第129年会 (2009.3.28. 京都).「骨芽細胞のmenaquinone-4(MK-4)生合成におけるキノ還元酵素の関与について」
磯元啓吾, 中川公恵, 榊利之, 加藤茂明, 岡野登志夫	学会報告	日本薬学会第129年会 (2009.3.28. 京都).「ヒトビタミンD依存性クル病I型モデルマウス(CYP27B1-KO)における骨形成異常の改善に対するカルシウム(Ca)補給効果について」
出野奈穂子, 津川尚子, 鎌尾まや, 岡野登志夫, 佐々木敏, 村上健太郎, 高橋佳子, 上西一弘, 山崎美津代, 早瀬仁美, 合田敏尚, 岡 純, 馬場啓子, 大木和子, 渡邊令子, 杉山佳子	学会報告	日本薬学会第129年会 (2009.3.28. 京都).「女子大学生におけるビタミンE栄養の評価」
中川公恵, 奥田直子, 須原義智, 岡野登志夫	学会報告	ビタミン学会第61回大会 (2009.5.30 京都).「Menaquinone-4の軟骨細胞分化に対する作用」
中川公恵, 奥田直子, 須原義智, 岡野登志夫	学会報告	ビタミン学会第61回大会 (2009.5.30. 京都).「Menaquinone-4の軟骨細胞分化に対する作用」
奥田直子, 中川公恵, 須原義智, 岡野登志夫	学会報告	ビタミン学会第61回大会 (2009.5.30. 京都).「ヒト骨芽細胞におけるメナキノ-4生合成に対するメバロン酸代謝経路阻害剤の影響」
弓削直人, 中川公恵, 澤田夏美, 須原義智, 岡野登志夫	学会報告	ビタミン学会第61回大会 (2009.5.30. 京都).「ヒト骨芽細胞におけるMenaquinone-4生合成に対するキノ還元酵素の関与」
磯元啓吾, 中川公恵, 榊利之, 加藤茂明, 岡野登志夫	学会報告	ビタミン学会第61回大会 (2009.5.30. 京都).「CYP27B1遺伝子欠損マウスを用いたビタミンD誘導体の骨形成作用の解析」
中川公恵, 奥田直子, 澤田夏美, 内野由理, 岡野登志夫	学会報告	第27回日本骨代謝学会 (2009.7.23.).「メナキノ-4は軟骨細胞の分化に伴い生合成され軟骨細胞機能を制御する」
弓削直人, 中川公恵, 澤田夏美, 内野由理, 須原義智, 岡野登志夫	学会報告	第27回日本骨代謝学会 (2009.7.24. 大阪).「Steroid and xenobiotic receptor (SXR)とγ-glutamyl carboxylase (GGCX)およびメナキノ-4合成酵素は共通のメナキノ側鎖構造認識特性を有する」
奥田直子, 中川公恵, 須	学会報告	第27回日本骨代謝学会 (2009.7.24. 大阪).「ビスフォスフォネートおよびスタチンは骨芽細胞

原義智, 岡野登志夫		におけるビタミンK2産生を阻害する」
磯元啓吾, 中川公恵, 榊利之, 加藤茂明, 岡野登志夫	学会報告	第27回日本骨代謝学会 (2009.7.24. 大阪). 「CYP27B1遺伝子欠損マウスを用いた新規活性型ビタミンD誘導体ED-71の骨形成作用の解析」
Okano T., Nakagawa K., Isomoto K., Okuda N., Sawada N., Sakaki T., Kato S	学会報告	<i>The 31th Annual meeting of American Society for bone and mineral research</i> (2009.9.11-12. Denver). "A Novel Active Vitamin D Analogue, ED-71, Increases Bone Mass and Bone Strength more Efficiently than Alfacalcidol in CYP27B1 Knockout Mice."
Tsugawa N., Takase T., Minekami T., Uenishi K., Ishida H., Kamao M., Suhara Y., Okano T.	学会報告	<i>The 31th Annual meeting of American Society for bone and mineral research</i> (2009.9.12. Denver). "A Novel Evaluation Method for Vitamin K Status in Adolescents."
Nakagawa K., Okuda N., Uchino Y., Sawada N., Suhara Y., Okano T.	学会報告	<i>The 31th Annual meeting of American Society for bone and mineral research</i> (2009.9.13. Denver). "Menaquinone-4 is Biosynthesized in Chondrocytes during Chondrogenic Differentiation."
津川尚子, 高瀬友貴, 峯上卓也, 土井綾子, 小池さやか, 鎌尾まや, 上西一弘, 石田裕美, 岡野登志夫	学会報告	第11回日本骨粗鬆症学会 (2009.10.14. 名古屋). 「思春期のビタミンK栄養評価～曲率解析法を応用した新規評価法の開発～」
桑原晶子, 津川尚子, 藤井美野里, 河合信子, 迎幸子, 加藤謙, 小島康子, 高橋香, 小村一誠, 加川鈴子, 井上章, 野池利彰, 木戸詔子, 田中清, 岡野登志夫	学会報告	第11回日本骨粗鬆症学会 (2009.10.14. 名古屋). 「日本人施設入居高齢者におけるビタミンD3介入試験」
中川公恵, 磯元啓吾, 澤田夏美, 榊利之, 加藤茂明, 岡野登志夫	学会報告	第11回日本骨粗鬆症学会 (2009.10.15. 名古屋). 「新規活性型ビタミンD誘導体ED-71の骨形成作用に関するCYP27B1遺伝子欠損マウスを用いた解析」
津川尚子, 白木正孝, 鎌尾まや, 須原義智, 岡野登志夫	学会報告	第11回日本骨粗鬆症学会 (2009.10.16. 名古屋). 「臨床骨折予測因子としての血清中低カルボキシル化オステオカルシンの有用性の評価」
峯上卓也, 津川尚子, 上西一弘, 石田裕美, 岡野登志夫	学会報告	第59回日本薬学会近畿支部総会・大会 (2009.10.24. 大阪). 「曲率解析法を用いた新規栄養評価法の開発と応用～血液凝固及び骨形成におけるビタミンK必要量の比較～」
高瀬友貴, 津川尚子, 岡野登志夫	学会報告	第59回日本薬学会近畿支部総会・大会 (2009.10.24. 大阪). 「血管石灰化に関与する低カルボキシル化マトリックスグラタンパク質の血中濃度測定法の開発とビタミンK栄養評価への応用」
奥田直子, 中川公恵, 須原義智, 岡野登志夫	学会報告	第59回日本薬学会近畿支部総会・大会 (2009.10.24. 大阪). 「ヒト骨芽細胞におけるmenaquinone-4の生合成および生理作用に対するメバロン酸代謝経路阻害剤の影響」
弓削直人, 中川公恵, 澤田夏美, 内野由理, 渡辺雅人, 須原義智, 岡野登志夫	学会報告	第59回日本薬学会近畿支部総会・大会 (2009.10.24. 大阪). 「 $\gamma$ -Glutamyl carboxylase (GGCX)とSteroid and xenobiotic receptor (SXR)およびMenaquinone-4生合成酵素のビタミンK構造認識特性の解析」
磯元啓吾, 中川公恵, 榊利之, 加藤茂明, 岡野登志夫	学会報告	第59回日本薬学会近畿支部総会・大会 (2009.10.24. 大阪). 「CYP27B1遺伝子欠損マウスを用いた新規活性型ビタミンD誘導体Eldcalcitol (ED-71)の骨形成作用の解析」
渡辺雅人, 中川公恵, 澤田夏美, 弓削直人, 須原義智, 岡野登志夫	学会報告	第59回日本薬学会近畿支部総会・大会 (2009.10.24. 大阪). 「Vitamin K1に対するSteroid and xenobiotic receptor (SXR)のリガンド認識特性」
木村州作, 中川公恵, 岡野登志夫	学会報告	第59回日本薬学会近畿支部総会・大会 (2009.10.24. 大阪). 「ビタミンDおよびビタミンKの神経突起伸長作用」
鎌尾まや, 久戸瀬 純, 木村州作, 岡野登志夫	学会報告	フォーラム2009: 衛生薬学・環境トキシコロジー (2009.11.5 宜野湾). 「精巢におけるビタミンDおよびビタミンD代謝酵素CYP2R1の役割」
岡野 登志夫	講演	第63回日本栄養・食糧学会大会シンポジウム (2009.5.21 長崎). 「ライフステージごとのビタミンの食事摂取基準の策定理論: 乳児(0～5ヶ月と6～11ヶ月)の食事摂取基準—脂溶性ビタミン—」
津川尚子	講演	第1回J-DAVID講演会 (2009.8.5. 大阪). 「ビタミンDおよびビタミンKに関する最近の話題～ビタミン不足と心血管疾患との関連を中心に～」
津川尚子	講演	第28回日本臨床検査医学会 東海・北陸支部例会 (2009.9.6. 福井). 「～よりよい臨床検査医学を求めて～骨粗鬆症に関する疫学研究を中心としたビタミンD研究の最近の話題」
岡野登志夫	講演	<i>The 6th Vitamin K Meeting in Denver</i> (2009.9.13 Denver). "Effect of Mevalonate Metabolic Pathway Inhibitors on Menaquinone-4 Synthesis in Human Osteoblastic Cells"
岡野登志夫	講演	Vitamin D Forum Chugai 2009 (2009.9.19 ). 「遺伝子改変動物を用いたビタミンD研究の新たな展開」
岡野登志夫	講演	第53回日本薬学会関東支部大会シンポジウム (2009.10.3 坂戸). 「ニュートリゲノミクスが拓く栄養学のニューパラダイム」
岡野登志夫	講演	第11回日本骨粗鬆症学会イブニングセミナー (2009.10.14 名古屋). 「骨粗鬆症動物モデルに

		よるビタミンD作用の再考察」
中川公恵	講演	第11回日本骨粗鬆症学会イブニングセミナー (2009.10.14 名古屋).「ビタミンK生合成機構の新たな展開」
岡野 登志夫	講演	第8回K2サミット (2009.11.12 大阪).「ビタミンK代謝とその臨床的意義」
岡野登志夫	講演	Otsuka Academy オープンセミナー (2009.11.17 東京).「ビタミンDの最新知見」
岡野登志夫	講演	日本人の食事摂取基準(2010年版)(厚生労働省)(2009.11.29 名古屋).「ビタミンの食事摂取基準」
岡野登志夫	講演	東京都健康長寿医療センター研究所公開講演会 (2009.11.30 東京).「脳内性ビタミンKの由来と存在意義について」
岡野登志夫	講演	第326回脂溶性ビタミン総合研究委員会60周年記念講演会 (2009.12.4 伊東).「ビタミンD研究の最新情報と今後の展望」
小西 守周、伊藤 信行	総説	分子細胞治療 <b>2009</b> , 8, 151-153.「エクトディン」
Miyake A., Takahashi Y., Miwa H., Shimada A., Konishi M., and Itoh N.	論文	<i>Biochem. Biophys. Res. Commun.</i> <b>2009</b> , 390(3), 1051-1055. "Neucrin is a novel neural-specific secreted antagonist to canonical Wnt signaling."
Miwa H., Miyake A., Kouta Y., Shimada A., Yamashita Y., Nakayama Y., Yamauchi H., Konishi M., and Itoh N.	論文	<i>FEBS Lett.</i> <b>2009</b> , 583(22), 3643-3648. "A novel neural-specific BMP antagonist, Brorin-like, of the Chordin family."
Hotta Y., Nakamura H., Konishi M., Murata Y., Takagi H., Matsumura S., Inoue K., Fushiki T., and Itoh N.	論文	<i>Endocrinology</i> <b>2009</b> , 150(10), 4625-4633. "Fibroblast growth factor 21 regulates lipolysis in white adipose tissue but is not required for ketogenesis and triglyceride clearance in liver."
Kimura I., Konishi M., Asaki T., Furukawa N., Ukai K., Mori M., Hirasawa A., Tsujimoto G., Ohta M., Itoh N., and Fujimoto M.	論文	<i>Biochem. Biophys. Res. Commun.</i> <b>2009</b> , 381(1), 75-80. "Neudesin, an extracellular heme-binding protein, suppresses adipogenesis in 3T3-L1 cells via the MAPK cascade."
Masuda Y., Matsumoto A., Toida T., Oikawa T., Ito K., Nanba H.	論文	<i>J. Agric. Food Chem.</i> <b>2009</b> , 57 (21), 10143-10149. "Characterization and antitumor effect of a novel polysaccharide from <i>Grifola frondosa</i> ."
Ito K., Masuda Y., Yamasaki Y., Yokota Y., Nanba H.	論文	<i>Int. Immunopharmacol.</i> <b>2009</b> , 9(10), 1189-1196. "Maitake beta-glucan enhances granulopoiesis and mobilization of granulocytes by increasing G-CSF production and modulating CXCR4/SDF-1 expression."
Masuda Y., Inoue M., Miyata A., Mizuno S., Nanba H.	論文	<i>Int. Immunopharmacol.</i> <b>2009</b> , 9(5), 620-626. "Maitake $\beta$ -glucan enhances therapeutic effect and reduces myelosuppression and nephrotoxicity of Cisplatin in mice."
椎野 円, 太田 鈺也, 小西 守周, 伊藤 信行	学会報告	第32回日本分子生物学会年会 (2009. 12. 09 横浜).「新規分泌性タンパク質Neudesinのマウスにおける役割の解明」
村田 雄亮, 中村 尋俊, 堀田 祐平, 小西 守周, 伊藤 信行	学会報告	第32回日本分子生物学会年会 (2009. 12. 10 横浜).「低炭水化物食飼育時におけるFgf21の役割の検討」
鬼頭 拓也, 佐々木 さやか, 小西 守周, 伊藤 信行	学会報告	第32回日本分子生物学会年会 (2009. 12. 12 横浜).「圧負荷性心肥大におけるFgf16の役割の解明」
三輪 裕幸, 甲田 雄也, 島田 明彦, 山下 由紀, 中山 喜明, 山内 肇, 小西 守周, 三宅 歩, 伊藤 信行	学会報告	第32回日本分子生物学会年会 (2009. 12. 12 横浜).「神経系特異的に発現する新規分泌因子Brorin-likeの同定と解析」
小西 守周, 伊藤 信行	学会報告	第30回日本肥満学会学術大会 (2009. 10. 09 浜松).「白色脂肪細胞におけるFGF21シグナルによる脂質代謝調節」
東郷 卓也, 増田 有紀, 水野 成人, 難波 宏彰	学会報告	日本薬学会第129年会 (2009. 03. 27 京都).「Dectin-1を介したマイタケMD-Fractionによるmacrophageの活性化機構に関する研究」
山崎 俊彦, 伊藤 晃一, 岸 紘子, 増田 有紀, 難波 宏彰	学会報告	日本薬学会第129年会 (2009. 03. 27 京都).「白血球減少症モデルマウスにおけるMD-Fraction経口投与での造血効果」
横田 喜信, 伊藤 晃一, 増田 有紀, 難波 宏彰	学会報告	日本薬学会第129年会 (2009. 03. 27 京都).「MD-Fractionの抗腫瘍効果発現に対する好中球の役割」
宮田 鮎, 井上 宗親, 増田 有紀, 難波 宏彰	学会報告	日本薬学会第129年会 (2009. 03. 27 京都).「シスプラチン誘起性致命的副作用モデルマウスにおけるマイタケ $\beta$ -グルカンMD-Fractionの併用効果について」
Mikami T., Yasunaga D., Kitagawa H.	論文	<i>J. Biol. Chem.</i> <b>2009</b> , 284(7), 4494-4499. "Contactin-1 Is a Functional Receptor for Neuroregulatory Chondroitin Sulfate-E "
Mizumoto S., Mikami T., Yasunaga D., Kobayashi N., Yamauchi H., Miyake A., Itoh N., Kitagawa H.,	論文	<i>Biochem. J.</i> <b>2009</b> , 419(2), 387-399. "Chondroitin 4-O-sulfotransferase-1 is required for somitic muscle development and motor axon guidance in zebrafish"

Sugahara K.		
Koike T., Izumikawa T., Tamura J., Kitagawa H.	論文	<i>Biochem. J.</i> <b>2009</b> , 421(2), 157-162. "FAM20B is a kinase that phosphorylates xylose in the glycosaminoglycan-protein linkage region"
北川 裕之	総説	生物薬科学実験講座 <b>2009</b> , 4巻-I, 61-73.「高速液体クロマトグラフィー{(3)アミン結合型シリカゲルカラムによる分離}」
北川 裕之	総説	生物薬科学実験講座 <b>2009</b> , 4巻-I, 94-115.「抗体カラム」
北川 裕之	講演	新潟大学医学部研究セミナー (2009.03.06 新潟).「コンドロイチン硫酸鎖の生合成と機能」
Kitagawa H.	講演	8th Pan-Pacific Connective Tissue Societies Symposium (2009.06.05 Yokosuka).「Role of the Sulfation Pattern of Chondroitin Sulfate in its Neuritogenic Activities」
宮田 真路, 北川 裕之	講演	第1回シグナル伝達医学GCOE研究討論会 (2009.07.06-07 淡路).「神経可塑性におけるコンドロイチン硫酸の機能解析」
北川 裕之	講演	第2回Kobe Circulation Conference (2009.07.14 神戸).「コンドロイチン硫酸鎖の生合成機構と病態の解明を目指した機能の解析」
Kitagawa H.	講演	<i>The 6th International Proteoglycan Meeting</i> (2009.09.13-17 France). "Role of The Sulfation Pattern of Chondroitin Sulfate in Its Neuritogenic Activities"
北川 裕之	講演	Austria/Japan Seminar on Comparative and Developmental Glycobiology (2009.09.21-22 Hayama).「Functional regulation of chondroitin sulfate by specific sulfation」
北川 裕之	講演	京都産業大学バイオフォーラム2009 (2009.11.05 京都).「グリコサミノグリカン鎖の生合成と機能-Sugar code の解読を目指して」
北川 裕之	講演	第32回日本分子生物学会年会 (2009.12.10 横浜).「Roles of glycosaminoglycans during development」
安永 大輝, 三上 雅久, 北川 裕之	学会報告	第6回神戸薬科大学ハイテクリサーチ・シンポジウムハイテク・リサーチ・センター整備事業継続事業研究講演 (2009.03.21 神戸).「高硫酸化コンドロイチン硫酸による神経突起伸長作用の発現機構の解析」
庄司 奈緒子, 鍵山 正二, 灘中 里美, 北川 裕之	学会報告	第6回神戸薬科大学ハイテクリサーチ・シンポジウムハイテク・リサーチ・センター整備事業継続事業研究講演 (2009.3.21 神戸).「EXTL2のグリコサミノグリカン鎖生合成への関与」
奥浦 由佳, 泉川 友美, 北川 裕之	学会報告	第6回神戸薬科大学ハイテクリサーチ・シンポジウムハイテク・リサーチ・センター整備事業継続事業研究講演 (2009.03.21 神戸).「コンドロイチン4-O-硫酸基転移酵素によるコンドロイチン硫酸鎖生合成の制御」
岩川 精吾, 北川 裕之, 太田 光熙, 棚橋 孝雄, 平井 みどり	学会報告	日本薬学会第129年会 (2009.03.26~28 京都).「大学院修士課程における実践型薬剤教育による臨床指導薬剤師養成への取組」
奥浦 由佳, 泉川 友美, 北川 裕之	学会報告	日本薬学会第129年会 (2009.03.26~28 京都).「コンドロイチン 4-O-硫酸基転移酵素によるコンドロイチン硫酸鎖生合成の制御」
岡田 めぐみ, 庄司 奈緒子, 灘中 里美, 北川 裕之	学会報告	日本薬学会第129年会 (2009.03.26~28 京都).「EXT1欠損細胞におけるヘパラン硫酸鎖生合成の解析」
灘中 里美, 石田 美穂, 池上 優美, 木内 啓貴, 北川 裕之	学会報告	第56回日本生化学会近畿支部例会 (2009.05.23 大阪).「コンドロイチン-4-O-硫酸基転移酵素-1によるWnt-3aシグナリングの微細調節」
泉川 友美, 奥浦 由佳, 小池 敏靖, 北川 裕之	学会報告	第29回日本糖質学会年会 (2009.09.09-11 高山).「コンドロイチン4-O-硫酸基転移酵素-1によるコンドロイチン硫酸鎖の鎖長制御機構」
小池 敏靖, 泉川 友美, 田村 純一, 北川 裕之	学会報告	第29回日本糖質学会年会 (2009.09.09-11 高山).「FAM20Bはグリコサミノグリカンの生合成に関わるキシロースリン酸化酵素である」
木内 啓貴, 池上 優美, 灘中 里美, 北川 裕之	学会報告	第29回日本糖質学会年会 (2009.09.09-11 高山).「コンドロイチン 4-O-硫酸基転移酵素-1による Wnt-3a の核酸制御」
久世 彩加, 岡田 めぐみ, 灘中 里美, 北川 裕之	学会報告	第29回日本糖質学会年会 (2009.09.09-11 高山).「EXT遺伝子ファミリーによるヘパラン硫酸の合成」
宮田 真路, 門松 建治, 多屋 長治, 北川 裕之	学会報告	第29回日本糖質学会年会 (2009.09.09-11 高山).「神経可塑性を制御する細胞外マトリックス形成におけるコンドロイチン硫酸の機能解析」
野村 一也, 出嶋 克史, 水口 惣平, 村田 大輔, 野村 和子, 安藤 恵子, 三谷 昌平, 瀬古 玲, 山下 克子, 泉川 友美, 菅原 一幸, 北川 裕之	学会報告	第29回日本糖質学会年会 (2009.09.09-11 高山).「線虫における硫酸化関連遺伝子の遺伝子ノックアウト」
灘中 里美, 石田 美穂, 池上 優美, 木内 啓貴, 北川 裕之	学会報告	比較発生糖鎖生物学とその医工学への応用に関する日本・オーストリア二国間セミナー (2009.09.21-22 葉山).「Fine-tuning of the Cellular Response to Wnt-3a by Chondroitin 4-O-sulfotransferase-1」
小池 敏靖, 泉川 友美, 田村 純一, 北川 裕之	学会報告	比較発生糖鎖生物学とその医工学への応用に関する日本・オーストリア二国間セミナー (2009.09.21-22 葉山).「FAM20B is a Kinase that phosphorylates Xylose in the Glycosaminoglycan-Protein Linkage Region」
Saigoh K., Izumikawa T., Koike T., Shimizu J., Kitagawa H., Kusunoki S.	学会報告	<i>134th Annual Meeting Baltimore, American Neurological Association</i> (2009.10.11-14 Maryland). "Chondroitin beta-1,4-N-acetylgalactosaminyltransferase-1 (ChGn-1) missense mutations are associated with neuropathies"
宮田 真路, 門松 建治,	学会報告	第82回日本生化学会大会 (2009.10.21-24 神戸).「大脳皮質の発生に伴う細胞外マトリックス

多屋 長治, 北川 裕之		形成におけるコンドロイチン硫酸の機能解析
小池 敏靖, 泉川 友美, 田村 純一, 北川 裕之	学会報告	第82回日本生化学会大会 (2009.10.21-24 神戸). 「キシロースリン酸化酵素であるFAM20Bによるグリコサミノグリカン合成の制御」
灘中 里美, 石田 美穂, 池上 優美, 木内 啓貴, 北川 裕之	学会報告	第59回薬学会近畿支部大会 (2009.10.31 大阪). 「コンドロイチン-4-O-硫酸基転移酵素-1によるWnt-3a シグナリングの微細調節」
武内 恒成, 比嘉 進, 渡邊 裕美, 北川 裕之, 五十嵐 道弘	学会報告	第32回日本分子生物学会年会 (2009.12.12 横浜). 「コンドロイチン硫酸プロテオグリカンの糖鎖合成酵素変異マウスにおける脳形成の解析」
Mizutani N., Nabe T., Yoshino S.	論文	<i>J Immunol.</i> <b>2009</b> , 183, 4039-4046. "Complement C3a regulates late asthmatic response and airway hyperresponsiveness in mice"
Mizutani N., Fuchikami J., Nabe T., Yoshino S., Kohno S.	論文	<i>Biol Pharm Bull</i> <b>2009</b> , 32, 1559-1564. "Development of cigarette smoke solution and LPS-induced emphysema in guinea pigs"
Mizutani N., Aoki Y., Nabe T., Ishiwara M., Yoshino S., Takagaki H., Kohno S.	論文	<i>Eur J Pharmacol</i> <b>2009</b> , 602, 138-42. "Effect of TA-270, a novel quinolinone derivative, on antigen-induced nasal blockage in a guinea pig model of allergic rhinitis"
Hutamekalin P., Saito T., Yamaki K., Mizutani N., Brand D.D., Waritani T., Terato K., Yoshino S.	論文	<i>J Immunol Methods</i> <b>2009</b> , 343, 49-55. "Collagen antibody-induced arthritis in mice: development of a new arthritogenic 5-clone cocktail of monoclonal anti-type II collagen antibodies"
Yamaki K., Yoshino S.	論文	<i>J Pharm Pharmacol</i> <b>2009</b> , 61, 1243-1248. "Inhibition of IgE-induced mast cell activation by ethyl tertiary-butyl ether, a bioethanol-derived fuel oxygenate"
Yamaki K., Yoshino S.	論文	<i>Biomaterials</i> <b>2009</b> , 22, 1031-1040. "Comparison of inhibitory activities of zinc oxide ultrafine and fine particulates on IgE-induced mast cell activation"
水谷暢明, 奈邊 健, 八巻耕也, 河野茂勝, 吉野 伸	学会報告	日本薬学会第129年会 (2009.3.26 京都). 「マウス喘息症状におけるcomplement C3aの関与についての検討」
日高総太, 八巻耕也, 水谷暢明, 吉野 伸	学会報告	日本薬学会第129年会 (2009.3.26 京都). 「アレルゲン特異的IgG3モノクローナル抗体の樹立及び、そのアレルギー反応における役割」
小川 直希, 八巻 耕也, 水谷暢明, 吉野 伸	学会報告	日本薬学会第129年会 (2009.3.26 京都). 「抗原抗体複合体による補体活性化能の測定実験」
Pilaiwanwadee Hutamekalin, Mariko Sasahara, Kouhei Takeda, Mitsuhiro Tani, Yuuko Tsuga, Kouya Yamaki, Nobuaki Mizutani, Shin Yoshino.	学会報告	日本薬学会第129年会 (2009.3.26 京都). 「Role of the C3a receptor antagonist SB290157 on anti-OVA polyclonal antibody-induced arthritis」
八巻耕也, 吉野 伸	学会報告	日本薬学会第129年会 (2009.3.26 京都). 「ラット好塩基球形白血球細胞株RBL2H3細胞のFcεRI依存的な活性化に対するバイオエタノールから生産されるガソリン添加物ETBEの影響」
五島浩文, 水谷暢明, 八巻耕也, 奈邊 健, 河野茂勝, 吉野 伸	学会報告	日本薬学会第129年会 (2009.3.26 京都). 「抗原特異的IgEモノクローナル抗体によるアレルギー性気管支喘息誘導に関する研究」
Pilaiwanwadee Hutamekalin, Kouya Yamaki, Nobuaki Mizutani, Shin Yoshino.	学会報告	第53回 日本リウマチ学会総会 (2009.4.23 東京). 「Efficacy of a new 5-clone cocktail of anti-type II collagen monoclonal antibodies in induction of severe arthritis」
八巻耕也, 吉野 伸	学会報告	第115回日本薬理学会近畿部会 (2009.6.26 金沢). 「Zinc Oxideナノ粒子がラット好塩基球形白血球細胞株RBL2H3の活性化に与える影響」
水谷暢明, 奈邊 健, 吉野 伸	学会報告	第59回アレルギー学会秋季学術大会 (2009.10.29 秋田). 「ナノ粒子のアレルギー性気管支喘息に及ぼす影響」
MONZEN Yukari, YAMAKI Kouya, YOSHINO Shin	学会報告	第39回免疫学会総会 (2009.12.3 大阪). 「Role of immune complexes (ICs) in production of TNF-a and nitric oxide by J774.1 macrophages」
AMMORI Yasuhiro, MIZUTANI Nobuaki, YAMAKI Kouya, YOSHINO Shin.	学会報告	第39回免疫学会総会 (2009.12.3 大阪). 「Antigen-specific suppression of asthmatic responses in mice by pathogenic antibody Fab fragments (Fabs)」
HIDAKA Souta , MONZEN Yukari , YAMAKI Kouya , MIZUTANI Nobuaki , YOSHINO Shin	学会報告	第39回免疫学会総会 (2009.12.3 大阪). 「Production of mouse IgG3 monoclonal antibodies (mAbs) to ovalbumin (OVA) and their role in inflammation in vivo and in vitro」
小川 直希, Hutamekalin Pilaiwanwadee, 八巻 耕也, 吉野 伸	学会報告	第59回日本薬学会近畿支部大会、総会 10/24 (大阪) (2009.10.24 大阪). 「抗原抗体複合体による補体活性化能の測定」
五島浩文, 水谷暢明, 奈邊 健, 吉野 伸	学会報告	第116回 日本薬理学会近畿支部 (2009.11.13 滋賀). 「抗原特異的IgEモノクローナル抗体により誘導したマウス喘息モデルにおけるcomplement C3aの役割」

Wada K., Takada M., Sakai M., Ochi H., Kotake T., Okada H., Morishita H., Oda N., Mano A., Kato T., Komamura K., Nakatani T	論文	<i>J. Heart Lung Transplant.</i> , <b>2009</b> , 28, 409-411. "Drug Interaction Between Tacrolimus and Carbamazepine in a Japanese Heart Transplant Recipient: A Case Report"
富田 尚子, 杉山 正敏, 杉本 功	論文	臨床リウマチ <b>2009</b> , 21(1), 38-45. 「抗リウマチ剤・ブシラミン市販製剤の安定性」
石津隆、恩田光子、神村英利、木方正、小竹武、佐藤拓夫、田中大三、早瀬幸俊、丸山徳見、八木直美、安田一郎	著書	『わかりやすい薬事関係法規・制度』(廣川書店, <b>2009</b> ) ..
薬学教育研究会編	著書	『CBT対策と演習 薬事関係法規・制度』(廣川書店, <b>2009</b> ) ..
高田充隆, 荒川行生, 飯原なおみ, 石渡俊二, 小川雅史, 恩田光子, 北小路学, 木村健, 小竹武, 杉山正敏, 竹下治範, 中妻章, 二宮昌樹, 八野芳巳, 廣谷芳彦	著書	『グラフィックガイド 薬剤師の技能 理論まるごと実践へ』(京都廣川書店, <b>2009</b> ) ..
高田充隆, 飯原なおみ, 小竹武	著書	『薬剤疫学への招待』(京都廣川書店, <b>2009</b> ) ..
小竹 武	講演	神戸薬科大学第10回公開市民講座 (2009.04.25 神戸). 「薬学6年制教育ってどう変わったの? -市民が育てる薬剤師-」
富田 尚子, 小竹 武, 杉山 正敏, 杉本 功	学会報告	第19回日本医療薬学会年会 (2009.10.24 長崎). 「一包化分包品内における製剤間の配合変化」
Yasuoka, Y., Kawada, Y., Nagahama, H., Omori, Y., Ishikawa, T., Tokonami, S., Shinogi M.	論文	<i>Phys. Chem. Earth</i> <b>2009</b> , 34(6-7), 431-434. "Preseismic changes in atmospheric radon concentration and crustal strain."
Yasuoka, Y., Ishikawa, T., Tokonami, S., Takahashi, H., Sorimachi, A., Shinogi M.	論文	<i>J. Radioanal. Nucl. Chem.</i> <b>2009</b> , 279(3), 885-891. "Radon mitigation using an air cleaner."
Yasuoka, Y., Ishikawa, T., Fukuhori, N., Tokonami, S	論文	<i>J. Hot Spring Sci.</i> <b>2009</b> , 59(1), 11-21. "Comparison of simplified liquid scintillation counter (Triathler) with conventional liquid scintillation counter in the measurement of radon concentration in water."
Omori, Y., Nagahama, H., Kawada, Y., Yasuoka, Y., Ishikawa, T., Tokonami, S., Shinogi M.,	論文	<i>Phys. Chem. Earth</i> <b>2009</b> , 34(6-7), 431-434. "Preseismic alteration of atmospheric electric conditions due to anomalous radon emanation."
Ishikawa, T., Yasuoka, Y., Tokonami, S., Takahashi, H., Suda, H.	論文	<i>J. Radioanal. Nucl. Chem</i> <b>2009</b> , 279(3), 719-724. "Characterization of airborne radon released by domestic showering and the use of a washing machine"
Hosoda, M., Sorimachi, A., Yasuoka, Y., Ishikawa, T., Sahoo, S. K., Furukawa, M., Hassan, N. M., Tokonami, S., Uchida, S.	論文	<i>J. Radiat. Res.</i> <b>2009</b> , 50(4), 333-343. "Simultaneous measurements of radon and thoron exhalation rates and comparison with values calculated by UNSCEAR equation."
大森 康孝、長濱 裕幸、川田 祐介、安岡 由美、石川 徹夫、床次 眞司、志野木 正樹	学会報告	日本地球惑星科学連合 2009年大会 (2009.5.16 千葉市). 「ラドン散逸から見積もる大気電気パラメータの地震前駆変化」
安岡 由美、長濱 裕幸、大森 康孝、川田 祐介、石川 徹夫、床次 眞司、下 道國、橋本 哲夫、志野木 正樹	学会報告	日本保健物理学会第43回研究発表会 (2009.06.03 大阪). 「兵庫県南部地震前に増加した大気中ラドン濃度の発生源に関する考察」
細田 正洋、床次 眞司、石川 徹夫、反町 篤行、サファー サラタ クマール、ミロスロー ジャニック、高橋 博路、安岡 由美、古川 雅英、下 道國、内田 滋夫	学会報告	日本保健物理学会 第43回研究発表会 (2009.06.03 大阪市). 「ラドン・トロン散逸率に及ぼす環境因子の検討」
Yasuoka, Y., Ishikawa T., Tokonami, S.,	学会報告	<i>the International Joint Research on Construction of Natural Radiation Exposure Study Network</i> (2009.10.05 Chiba). "The measurement of radon concentration in mineral

Fukuhori, N., Yokota, S		springs "
Masahiro Hosoda, Shinji Tokonami, Tetsuo Ishikawa, Atsuyuki Sorimachi, Sahoo Sarata Kumar, JANIK Mirosław, Hiroyuki Takahashi, Yumi Yasuoka, Michikuni Shimo, Masahide Furukawa, Shigeo Uchida	学会報告	<i>International workshop on radiation biology and radiation protection</i> (2009.10.14 上海市). "Influence factors on radon/thoron exhalation rates in the soil environment"
安岡 由美	講演	大阪府立消防学校 第187回専科教育(特殊災害科) (2009.3.13 大阪).「放射性物質に関する基礎知識」
安岡 由美	講演	密封・非密封事業所を対象とした平成21年度放射線業務従事者のための教育訓練講習会I (2009.7.10 大阪).「放射線障害の防止に関する法令」
安岡 由美	講演	保物セミナー2009 (2009.10.30 大阪).「大学の現場から見た保健物理」
安岡 由美	講演	平成21年度放射性同位元素取扱安全管理担当者教職員研修 (2009.10.16 京都).「阪神淡路大震災時の放射線安全管理担当者としての対応」
安岡 由美	講演	神戸市消防学校「特殊災害課程」(2009.11.26 神戸).「RI災害論」
安岡 由美	講演	文部科学省「原子力人材育成プログラム・原子力研究推進プログラム」講演会 (2009.12.1 茨城).「地震・放射線・原子力—平成7年兵庫県南部地震と 大気中のラドン濃度異常—」
安岡 由美	講演	第3回日本保健物理学会学生発表会 (2009.12.17 神戸).「兵庫県南部地震前後の保健物理」
Shibata A, Morioka I, Ashi C, Nagasaki S, Tode C, Morikawa S, Miwa A, Enomoto M, Saiki K, Yokoyama N, Takeuchi A, Matsuo M	論文	<i>Clin Chim Acta.</i> <b>2009</b> , 402(1-2), 124-128. "Identification of N-acetyl Proline-Glycine-Proline (acPGP) in human serum of adults and newborns by liquid chromatography-tandem mass spectrometry."
Tode C., Takeuchi A., Iwakawa S., Tatsumi A., Sugiura M.	論文	<i>Chem. Pharm. Bull.</i> <b>2009</b> , 57, 653-656. "Hydrogen-Deuterium (H-D) Exchange Reaction of Warfarin in D2O Solution"
Tode C., Maoka T., Sugiura M.	論文	<i>J. Sep. Sci.</i> <b>2009</b> , 32, 3659-3663. "Application of LC-NMR to analysis of carotenoids in foods"
長崎志津、竹内敦子、和 田昭盛	学会報告	日本薬学会第129年会 (2009.3.26 京都).「MALDI TOF-MSによるタンパク質同定のためのサンプル調製法の検討」
塚田雅子、竹内敦子、高 岡 裕、三浦研爾、西尾久 英、和田昭盛	学会報告	日本薬学会第129年会 (2009.3.26 京都).「UDP-glucuronosyltransferase 1A1変異体のグルクロン酸抱合能の比較」
葭ちとせ、竹内敦子、和田 昭盛、西尾久英	学会報告	日本薬学会第129年会 (2009.3.26 京都).「UDP-glucuronosyltransferase 1A1遺伝子転写調節領域の転写活性について」
竹内敦子、塚田雅子、西 尾久英	学会報告	第57回日本質量分析総合討論会 (2009.5.15 大阪).「UDP-Glucuronosyltransferase 1A1のグルクロン酸抱合能の解析研究」
都出 千里、眞岡 孝至、 杉浦 眞喜子	学会報告	日本薬学会第129年会 (2009.3.27 京都).「DOSY法を用いたアスタキサンチンアナログの分離研究」
都出 千里、眞岡 孝至、 杉浦 眞喜子	学会報告	第23回カロテノイド研究談話会 (2009.9.17 仙台).「LC-NMRを用いた食品中のカロテノイドの分析—その1—」
徳永 隆司、岡本 昌彦、 田中 浩三、都出 千里、 杉浦 眞喜子	学会報告	第48回NMR討論会 (2009.11.10 福岡).「LC-CD-NMRの試み—光学異性体の分離と化学構造解析を同時に行うために—」
Takaoka Y., Miura K., Sugano A., Ohta M., Takeuchi A., Matsuo M., Nishio H.	学会報告	<i>The 10th International Conference Bioinfo2009</i> (2009.11.04-06 Busan, Korea). "In silico estimation for the conjugation capacity of mutant UDP-glucuronosyltransferase 1A1."
高岡 裕、竹内 敦子、菅 野 亜紀、三浦 研爾、大 田 美香、西尾 久英、松 尾 雅文	学会報告	第32回日本分子生物学会大会 (2009.12.11 横浜).「グルクロン酸転移反応の分子シミュレーション解析と抱合能予測」
高岡 裕、三浦 研爾、大 田 美香、菅野 亜紀、竹 内 敦子、西尾 久英、松 尾 雅文	学会報告	第82回 日本生化学会大会 (2009.10.23 神戸).「UDP-グルクロン酸転移酵素の抱合反応の分子シミュレーション解析」
Takeuchi A., Tsukada M., Nishio H.	学会報告	<i>18th International Mass Spectrometry Conference</i> (2009.9.2 Bremen). "Analysis of UDP-glucuronosyltransferase 1A1 capacity"
杉浦 眞喜子	講演	住友化学株式会社有機合成研究所 (2009.3.25 大阪).「NMRと分離—LC-NMRと液晶NMR—」
杉浦 眞喜子	講演	分析化学会近畿支部第2回支部講演会 (2009.12.4 大阪).「I Love NMR—分析化学の中でのNMR—」
Rangkaew N., Suttisri R.,	論文	<i>Arch Pharm Res</i> <b>2009</b> , 32(5), 2009. "A New Acyclic Diterpene Acid and Bioactive

Moriyasu M., Kawanishi K..		Compounds from <i>Knema glauca</i> "
Rangkaew N., Suttisri R., Moriyasu M., Kawanishi K.	論文	<i>Fitoterapia</i> <b>2009</b> , 80(6), 377-379 . "A new arylnaphthalene lignan from <i>Knema furfuracea</i> "
Deepralard K., Kawanishi K., Moriyasu M., Pengsuparp T. Suttisri R.	論文	<i>Thai J Pharm Sci</i> <b>2009</b> , 33(2-3), 84-90. "Flavonoid glycosides from the leaves of <i>Uvaria rufa</i> with advanced glycation end-products inhibitory activity"
赤井 朋子	トピックス	近現代演劇研究 <b>2009</b> , 2, 32.「俳優としてのハロルド・ピンター」
赤井 朋子	学会報告	<i>IFTR Annual Conference</i> (2009.07.15 Lisbon). "The Lord Chamberlain and the Popular Playwright of the West End Theatre: How Noël Coward reacted to Theatre Censorship"
赤井 朋子	学会報告	近現代演劇研究会 (2009.10.17 豊中).「都市と演劇—ロンドンの場合」
長嶺 幸子	論文	<i>Libra</i> <b>2009</b> , 9, 1-27.「神戸薬科大学1年生の意識調査—薬学教育制度変革期における薬学生の意識変化—」
内田 吉昭	学会報告	日本数学会秋季総合分科会 (2009.09.24 ).「寄り道結び目解消操作」
内田 吉昭	学会報告	東北結び目セミナー (2009.10.17 山形).「寄り道結び目解消操作」
内田 吉昭	学会報告	結び目の数学II (2009.12.24 東京).「寄り道交差交換」
内藤 猛章	講演	<i>The 4th Pacific Synposium on Radical Chemistry</i> ((2009. 11. 19-22 Shanghai). "Great Oxime Ether in Radical Reaction"